



# PERSPIRATION



2011 年

茨城大学陸上競技部 部誌

第 6 号

## 目次

I. 2011 年度シーズンを振り返って	2
II. 2011 年度活動報告	6
i) 大会後記	7
関東インカレ／千葉対校／日本インカレ／国公立 22 大学対校／ 北関東 5 大学対校／三浜駅伝／荒川駅伝／勝田全国マラソン／国公立 22 大学対校駅伝	
ii) その他の主な競技会の結果	15
茨城県選手権／関東選手権・その他	
iii) その他の活動	17
審判・補助員／宇都宮大学・千葉大学合同合宿	
III. 2012 年度シーズンの抱負	18
IV. 2012 年度活動予定	21
V. 卒業・修了生より	22
VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ	27
VII. 記録集	33
茨城大学記録・男子／茨城大学記録・女子／2011 年度ランキング／対校戦順位一覧	
VIII. 部員名簿	37
編集後記・連絡先	38

## I. 2011 年度シーズンを振り返って

### 主将反省

前主将 ホアン テ ウェン

私は 2010 年度北関東 5 大学対校戦後に前主将小向から主将を引き継ぎました。小向からの引き継ぎの際、泣きながらの就任あいさつになってしまった出来事が今では懐かしく感じます。今振り返ると、2 年生のシーズンでは満足な結果を残せなかった悔しさと、このままの状態チームを引っ張っていくことが出来るのかという不安な気持ちが表れていたように思います。私は主将を受け継いだときに、茨城大学陸上競技部の主将としてチームと一緒に挑戦する中で、自分がどのようにチームと共に成長出来るのかを知りたいと考えていました。この 1 年間を通して私の中では大切なこと、今の行動理念の一部を見つけることが出来、貴重な経験をさせていただきました。当初の私と比べると今では少し成長することが出来たと思っています。

今年のスローガンは「有言実行」を目標に掲げ取り組んできました。このスローガンは、自分で決めたことに対して厳しく貪欲に迫り、また言葉で表すことでお互いに共通の理解を持って、切磋琢磨出来るチームになりたいと思い決めました。しかし前半戦ではうまく皆の気持ちを共有しあえるような働きかけが出来なかった反省はあります。まず私達 3 年生の代からの働きかけだけでなく、積極的に行動して競技の面で盛り上げていけたらと思いました。10 月には国公立 22 大学対校陸上競技大会の主催を務め、準備から運営まで茨城陸上競技連盟の先生方、茨城大学陸上競技部 OB・OG 会の皆さんを始め、多くの方々協力し助けてくださいました。普段選手として参加している競技会に違う視点から関わることが出来て、より一層感謝の気持ちを持って競技に臨むことが出来るようになりました。また自分たちで考えて、準備にあたってくれる茨城大学陸上競技部の皆さんをみて、とても誇らしく思うとともに、改めてチームの良さを感じる事が出来ました。今年は北関東 5 大学対校戦の主催があるので、この経験を伝えていければと思います。

この 1 年間、顧問である上地先生、渡邊先生をはじめ、いつも私達の活動を支援して下さる OB・OG の方々、部活の先輩、後輩、そして 3 年生の皆には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。特に 3 年生には日頃から迷惑をかけることが多く、大変な思いをさせてしまいましたが、私を常に気にかけてくれて心の支えとなりました。

これからは最高学年として自分に何が出来るのかを考え、茨城大学陸上競技部の一員として、ラストシーズン自己ベストを更新出来るように頑張りたいと思います。

### 主務反省

前主務 鈴木香織

私の主務としての目標は 3 つありました。

1 つ目は仕事をきちんと行うことです。関東インカレ、日本インカレへのエントリーや他大学との連絡、関東学連への選手登録や連絡などが主な仕事でした。各対校戦のエントリーも行いましたが、大きなミスもなく行うことができました。

2 つ目の目標は、茨城大学が主催である国公立 22 大学対校戦を成功させることです。22 大学対校戦は主催校だけでなく 22 大幹事会と協力して作る大会です。幹事校である群馬大学、横浜国立大学、埼玉大学、東京学芸大学、一橋大学、首都大学東京の幹事会役員の中に私を加えたメンバーで会議を重ねて運営を行いました。上地先生、渡邊先生のご指導と、茨城陸上競技会、県西地区の役員の方々、OB や OG のご協力あって 3 日間の大会を行うことができました。大会主催にあたり、たくさんの方と関わることができてとても勉強になりました。今まで出場する側として見ていた大会も、裏方の様子や大変さが身にしみてわかったので、大会の見方も変わり、貴重な体験となりました。部員の皆さんも朝早くから運営のご協力、本当にありがとうございました。来年度は、北関東 5 大学対校戦の主催ということで、22 大学対校戦で培ったノウハウを下の代に伝えていきたいと思っています。

3 つ目は、部の運営と競技を両立させることです。運営をしているから記録を出せない、忙しくて練習ができなかったという言

い訳はしたくありませんでした。自己ベスト更新はもちろんのこと、ハンマー投では日本インカレ標準を切ることを目指して競技を行いました。結果としては、日本インカレの標準には届きませんでしたが、投擲4種目全てで自己ベストを更新することができました。

主催をしていたこの1年間は視野が狭くなったと感じる1年間でした。先輩方が部をまとめてくださっていた時には気づけていた事にも、運営中は気付かなかったことが多かったですし、目の前の問題を片づけることで精一杯になってしまうことも多々ありました。任期が終わってからやっと、たくさんの人に支えられてきたと感じることができました。本当にありがとうございました。

## 短距離ブロックの反省

### 前短距離ブロック長 南部智彦

昨年の短距離を振り返ると、対校戦においては得点源となる活躍を見せてくれたと思います。日本インカレに二人の出場者・入賞者が出たということはとても素晴らしいことであると同時に、全体にとっても良い刺激となりました。また、練習も明るく・元気に・声を出し、よい雰囲気で行っていたと思います。反省としては自己ベスト更新という点では、あまり多くの人が達成できなかったこと、ケガ人を多くだしてしまい、練習を積み重ねることができなかったことが挙げられます。練習前後のケアであったり、それに対する呼び掛け、体の状態把握などへの意識の高さが大切だと思いました。

現在の短距離ブロックはリレーで日本インカレ行くことを目標に活動しています。今後は全員の自己ベスト、リレーでの日本インカレ出場を達成できるよう、練習においては、互いに負けないという意識を持ちながら練習して質を高め、短距離ブロック一丸となって頑張っていきたいと思います。

## 中長距離ブロックの反省

### 前中長距離ブロック長 浅川瞭

今年は、1年生が5人入ってくれました。その中の2人は陸上競技初心者です。大学で数あるサークル・部活動の中から陸上競技に興味を持ち、その中でも中長距離をやってみたいと関心を抱いてくれたことは本当にありがたいです。

今年の中長の目標は「変革」の年にすることでした。それは、個々人の陸上に関する捉え方や考え方、とりわけ競技力向上に関してです。競技力の面でいえば、各大会の茨城大学の総得点に占める中長距離の割合を増やすことでした。実際、割合でみれば少しは増やすことは出来ましたが、それに貢献したのは一部のメンバーだけです。

上述にもありますが、今シーズンを通して貢献した、成長したのは一部だけでした。大部分の人は横ばいで終わってしまいました。これが1番の反省です。今シーズンの反省でもう一つ挙げられるのは、私を始め3・4年の上級生が全く活躍しなかったことです。本来、一番存在感を出し、活躍しなければならない私たちが不発で、1・2年の下級生に頼りきりでした。何とも情けない…。

では、私たち中長ブロックに決定的に足りないのは何か。それは明確です。1つ目は、知識がないこと。トレーニング方法・効果に関してや走り方。自分たちにとって最も重要な知識が欠落している。これでは何が必要で、どうすれば強くなるかが見えてきません。2つ目は、行動に変換できないこと。試合などで悔しさを経験しても、それを改善するために実際の行動として出てこない。これは必ずしも自分たちだけに当てはまる事ではないと思いますが、これを出来るか出来ないかが競技レベルを左右する大きな要因となりますし、強い人たちは皆これが出来ている。

上述の事柄を、今後出来るかどうかで見る未来は大きく違うと思います。改めて、自分はどんな選手になりたくて、そのためにやるべき課題は何なのかを確認し、それに向かってトレーニングしなければなりません。

## 跳躍ブロックの反省

前跳躍ブロック長 逆井智也

今シーズン跳躍ブロックの反省として、練習の内容と雰囲気は充実していたと思います。その理由として、メニューに多く取り入れた各自練習の時間を、それぞれのメンバーが各自の考えの下取り組んでくれたからです。新1年生が入ってこなかったのは痛手でもありますが、逆に個人にある程度任せていても、自分にあった練習を自由にやっていけるのは武器であったと思います。後は、そこにさらなる知識と工夫を加えて、より自由で効果の高い練習にしていきたいです。

競技面では、男子は2人が関東インカレの標準を突破しましたが、その力を22大学対校戦で発揮できなかったのが悔やまれます。狙った試合で結果を出す実力もつけなければなりません。女子は大きな大会でも活躍でき、2年次山口は日本インカレで入賞しました。女子のメンバーは今後もチームを引っ張る原動力としてさらに成長して欲しいです。自己記録が出た人も出なかった人もそれぞれに原因があり、全員にまだまだ多くの伸びしろがあります。これからもメンバー全員で考え、自由な発想の練習をしていきたいと思います。

これからの課題として第1に挙げられることは走力を向上させることです。これはほとんどのメンバーにできることです。特に男子は四継メンバーを狙う意気でトップスピードの向上に取り組んでいきたいです。

個人、自由を尊重するあまり、チームの方向性までばらばらになってしまっただけでは真の力は発揮できません。個人の考え、ブロックの考え、チームの目標というすべてのベクトルが同じ方向に向かうようなチームにしていきたいです。

## 投擲ブロックの反省

前投擲ブロック長 ホアン テ ウェン

今年の投擲ブロックの反省として、唯一日本インカレ出場選手を出せなかったことに限ると思います。日本インカレ選手が出せればそれで良いという問題でもありませんが、自分達の持っている実力を十分に発揮できたかと聞かれると、胸を張って力を出し切れたとは言えません。私自身もチームに貢献したいという思いが優先してしまい、目先の競技の順位にだけこだわってしまうことがあり、本来の陸上競技の楽しさの本質、選手としてのプライドを忘れかけてしまっていました。「投擲種目は大学になると競技人口が減少するから、他の種目よりも入賞するのは楽でしょ」と思われている事に対して、そのように思われる状況を作っている自分自身に対して腹が立ち、悔しさを感じました。まだどこかで自分達に甘い部分があったと思います。

今一度自分達の専門性について考え、他人が望んでいるから、チームにとって良いからという事を一旦除き、私達投擲ブロックとして何を達成したいのか、何を望むのかを明確にしたいと思っています。悔しさは来シーズン倍にして返したいと思います。

## ハードルパート長の反省

前ハードルパート長 小島恵梨香

今年度は、100mH・110mHを専門とする3人の1年生がハードルパートに加わり、6人での活動となりました。パート長としては、一人一人の練習メニューを聞き、なるべくハードルパートでまともな練習ができるようにして行きました。それぞれのやりたい練習メニューを尊重したいとも考えていたため、難しい点でもありました。競技結果では、110mHで茨大記録の更新、ハードル種目で自己ベストを更新したのが3名でした。このような結果の反面、自身もそうでしたが、怪我に悩まされハードル種目で納得のいく記録を残すことができなかった、記録に伸び悩む人が多かったように思います。来年度はまず、パート全員が怪我なくレースに挑むことができるようにしたいです。対校戦では、ハードル種目でしっかり得点を取りにいきます。2年間ハードルパート長を務め、現在は柴に引き継ぎました。今後も互いに刺激し合い、成長する・活気のあるブロックであって欲しいです。

## マネージャーブロックの反省

前マネージャーブロック長 宮岡仁美

マネージャーブロックは、今年度新たに1年生の萩野谷を加え、4名で活動に取り組んできました。4名いることで、余裕を持って練習に臨む事ができ、仕事を分担してスムーズにできたことが増えたり、傷病者が出た時もすぐに対応に向かうことができました。しかし、まだまだ配慮が行き届いていない部分や徹底できなかったことも多々あります。来年度は、今年度挙げた反省を活かし、また、自分たちがやっている事の意義を考えながら、今、部活・選手にとって何が必要なのかということを軸に、選手の皆さんがより競技に専念できるよう、より質の高いサポートを目指して活動していきたいと思います。

現在は、新ブロック長石津を中心に、新たな活動方針である「挑戦!現状打破」をもとに、新たにマネージャー通信を毎月発行するなど、マネージャーブロックから部をより良くするために何ができるか、挑戦しながら活動しています。それぞれの長所を適所で活かしながら、協力して取り組んでいきたいと思います。今後もマネージャーブロックをよろしくお祈いします。

## 日立ブロックの反省

前日立ブロック長 栗原航介

今年は、東日本大震災から始まった1年となりました。この震災の影響で、日立の競技場が震災後～5月初め、6月末～7月末まで使用できず、また、前期は土曜日にも授業のためポイント練習に参加する機会が減ってしまいました。そんな中、今年度から2年生を1名加えて、6名での活動になりました。しかし、研究室や就職活動、授業の関係で、まとまって練習することができず、1人で練習することが多くなってしまいました。日立ブロック長である自分がブロックをまとめ、よりよい環境で練習できるように努めるべきでしたが、私自身が部員、ブロック員に一番迷惑をかけてしまったことは反省すべき点です。

今シーズン、専門種目で自己ベストを更新した人が1人もいませんでした。頭を使って考えてももっともっと工夫しなければいけません。そして、日立のメリットを活かせれば自ずと結果は付いてくるはずで。

来年度から、新2年生が3人も日立に来てくれるので活気あふれるブロックになると思います。日立ブロック一丸となって活躍できるよう頑張りますので応援よろしくお祈いします。1年間ありがとうございました。



## Ⅱ. 2011 年度活動報告

### 2011 年度活動報告

日程	競技会名	場所
5/14～15, 21～22	第 90 回関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ）	国立競技場・日本大学陸上競技場
6/17～19	2011 日本学生陸上競技個人選手権大会	平塚市総合公園平塚競技場（神奈川）
7/1～3	第 65 回茨城県陸上競技選手権大会	ケーブデンキスタジアム水戸
8/6	第 46 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦	千葉総合スポーツセンター陸上競技場
8/12	茨城県陸上競技国体予選	ケーブデンキスタジアム水戸
8/19～21	第 84 回関東陸上競技選手権大会	栃木県総合運動公園陸上競技場
8/26～27	第 60 回関東甲信越大学体育大会(中止)	栃木県総合運動公園陸上競技場
9/9～11	第 80 回日本学生陸上競技対校選手権大会（日本インカレ）	KKWING(熊本)
9/16～17	第 22 回関東学生新人陸上競技選手権大会	国立競技場
9/17～19	第 26 回国公立 22 大学対校陸上競技大会	古河市中央運動公園陸上競技場（茨城）
10/7～11	国民体育大会	維新百年記念公園陸上競技場(山口)
10/22	第 62 回北関東 5 大学対校陸上競技大会	群馬県立敷島公園県営陸上競技場
12/4	第 66 回三浜駅伝競走大会	ひたちなか(那珂湊)
12/18	第 12 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷（東京）
12/23～25	宇都宮大学・千葉大学合同合宿	とちぎ海浜自然の家
1/29	第 60 回勝田全国マラソン	ひたちなか
2/11	第 9 回国公立 22 大学対校駅伝大会	熊谷スポーツ文化公園内(埼玉)
3/14～17	春合宿	熊谷スポーツ文化公園内(埼玉)
3/18	第 21 回楮川駅伝競走大会	楮川ダム（水戸）



## i) 大会後記

### 第90回関東学生陸上競技対校選手権大会

(2010/5/14~15、5/21~22 国立競技場・日本大学陸上競技場)

今年の関東インカレは3月11日に起きた東日本大震災の影響で開催自体が危ぶまれましたが、多くの関係者の方々の努力のおかげにより、例年通り開催されました。

茨城大学からは個人種目で男子が5名、女子が7名出場しました。大学院1年次の鈴木麻理は女子2部100m、200mでは大会新記録で二冠を達成しました。今後の活躍にも期待したいと思います。男子2部円盤投では3年次のホアンが悪天候の中での試合を投げぬき、2位という成績でした。2年次の伊藤は男子2部100mで2位、男子2部200mで3位と2種目で入賞を果たし、チームに勢いをもたらしました。女子七種競技では2年次山口が100mHと砲丸投で自己新記録を出し、合計得点4502点で8位入賞という成績でした。その他にも男子2部ハンマー投に出場した2年次小林、男子2部200mに出場した伊藤が自己新記録を更新しました。

今シーズン初の対校戦だったので課題も残りましたが、陸上競技に取り組むことが出来る幸せを感じられた大会となりました。私たちは周りの人への感謝の気持ちを忘れずに、少しでも周囲に勇気と感動を与えることが出来るパフォーマンスを目指して、チーム一丸となって活動していきたいと思っています。

(文責：ホアン テ ウェン)

#### 関東インカレ結果(出場者)

種目	記録	氏名	備考
男子 100m 予選	10.80(-0.7)	伊藤 太一	
男子 100m 準決勝	10.93(-1.8)	伊藤 太一	
男子 100m 決勝	10.90(-2.7)	伊藤 太一	2位
男子 200m 予選	21.68(-1.4)	伊藤 太一	
男子 200m 予選	23.60(-1.5)	山田 優	
男子 200m 決勝	21.69(-3.6)	伊藤 太一	3位
男子 400mH 予選	55.41	川部 優太	
男子 4×100mR 予選	43.08	逆井・伊藤・川部・山田	
男子 円盤投 決勝	38m86	ホアン テ ウェン	2位
男子 ハンマー投 決勝	40m57	小林 朋寛	
女子 100m 決勝	12.47(+0.4)	鈴木 麻理	1位
女子 200m 決勝	26.18(-2.0)	鈴木 麻理	1位
女子 10000m 決勝	DNF	黒澤 夏楠	
女子 4×100mR 予選	49.45	山屋・林田・山口・遠藤	
女子 4×400mR 予選	4.08.59	肥田埜・林田・山屋・遠藤	
女子 走高跳 決勝	1m65	林田 麻由	
女子 三段跳 決勝	12m07(+1.7)	遠藤 園子	
女子 砲丸投 決勝	11m64	城所 舞	
女子 ハンマー投 決勝	33m34	鈴木 香織	
女子 七種競技 決勝	4502点	山口 真未	8位



伊藤(表彰)



小林(ハンマー投)



## 第 46 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦

(2011/8/6 千葉県総合スポーツセンター陸上競技場)

2008 年から 3 年ぶりに千葉大学主催で本大会は行われました。この千葉対校は今年入部した 1 年生の多くにとっては対校戦デビュー、関東インカレに出場できなかった者にとっては開幕戦となる大会です。また、専門としている競技だけではなくブロックの枠を超えての参加ができる特殊な大会でもあります。

今年の千葉対校では男子はトラック、女子はトラック・フィールド・総合で勝利を収めることができました。特に 1、2 年生の活躍や本年度から始めた新しい応援など、千葉の地に若く新しい緑風を巻き起こすことができたように思います。しかしながら、昨年の大会では男女ともに総合優勝をされていて、連覇を狙っていた大会だけに男子が総合優勝を逃してしまったということは、チームがまだまだ未成熟であるようにも感じました。また、大会前や競技中でのケガで競技に出場できなくなってしまう者が多かったという点もありました。全体の雰囲気は良いと思っていただけにケガには一層気をつけなければならないと思います。

そして、この大会の重要な点として挙げられることが、千葉大学との交流ができるということです。大会を通じて仲を深め、ライバルを見つけられる機会を、これからも大事にして欲しいと願っています。

(文責：高野 和文)

千葉対校結果(優勝者)

種目	記録	氏名
男子 100m	10.85(-1.4)	伊藤 太一
男子 200m	22.11(-4.0)	伊藤 太一
男子 400m	50.23	滑川 智登
男子 1500m	4.03.99	加藤 俊介
男子 5000m	16.16.09	富井 一仁
男子 110mH	15.27(-1.1)	星 耕平
男子 400mH	55.25	川部 優太
男子 4×100mR	41.89	山本・伊藤・星・滑川
男子 4×400mR	3.23.16	星・川部・山本・滑川
男子 砲丸投	11m73	ホアン テ ウェン
男子 円盤投	38m49	ホアン テ ウェン
男子 やり投	54m86	ホアン テ ウェン
女子 100m	12.51(-1.4)	鈴木 麻理
女子 200m	25.86(-2.8)	鈴木 麻理
女子 400m	59.99	肥田塾里枝
女子 1500m	4.47.72	黒澤 夏楠
女子 100mH	15.18(-1.4)	山口 真未
女子 4×100mR	48.76	遠藤・鈴木・山口・林田
女子 4×400mR	4.11.81	鈴木・山屋・林田・遠藤
女子 走高跳	1m65	林田 麻由
女子 走幅跳	5m38(+1.4)	遠藤 園子
女子 三段跳	12m24(+4.0)	遠藤 園子
女子 砲丸投	12m33	城所 舞
女子 円盤投	35m78	星野 千恵
女子 やり投	37m27	山口 真未



## 第 80 回日本学生陸上競技対校選手権大会

(2011/9/9～11 KKWING : 熊本)

今年度茨城大学からは、大学院1年次の鈴木麻理、4年次の遠藤、2年次の伊藤、黒澤、山口の計5名が出場しました。今年度は、例年行われていた国立競技場での大会ではなく、九州の熊本で行われたので部員全員での応援はなりませんでした。5人全員が自分自身の出せる力を発揮し全力で臨むことができました。

鈴木麻理は昨年度、成績が良かったために今期は更なる期待がかかりましたが、不調が続き、100m・200mともに自己ベストに届かず、悔しい結果となりました。遠藤は昨年度12位であり、今年度8位入賞を目標としていましたが、昨年度よりも記録は良かったものの入賞には届きませんでした。黒澤は2回目の日本インカレ出場となり、彼女らしい力走を見せてくれ、大舞台で茨大記録2傑という結果を残しました。

昨年度は日本インカレ出場を逃した2人の2年生は、今年度著しい成長を遂げました。山口は、腰を痛めており、その痛みを引きずったまま今大会に臨みましたが、持ち前の粘り強さで全種目に全力で臨み、見事に8位入賞を果たしました。今年度ただ1人の男子の出場者となった伊藤は、春から着々と力をつけてきており、100m・200m共に予選を突破し、準決勝、決勝と素晴らしい走りを見せてくれました。記録はどちらも自己ベストと茨大新記録をマークし、100mでは6位、200mでは5位という成績を残しました。

5人それぞれ結果は異なるものでしたが、全員が全力で試合に臨み、茨城大学の代表として堂々と戦ってることが出来たと思います。今回の結果に満足せずに今後更なる記録向上に期待したいです。

(文責：遠藤 園子)

日本インカレ結果(出場者)

種目	記録	氏名	備考
男子 100m 予選	10.80(-0.5)	伊藤 太一	
男子 100m 準決勝	10.56(-0.9)	伊藤 太一	
男子 100m 決勝	10.80(-1.9)	伊藤 太一	6位
男子 200m 予選	21.18(+0.4)	伊藤 太一	
男子 200m 準決勝	21.15(+0.7)	伊藤 太一	
男子 200m 決勝	21.14(±0.0)	伊藤 太一	5位. 茨大新
女子 100m 予選	12.53(-0.4)	鈴木 麻理	
女子 200m 予選	25.34(+1.2)	鈴木 麻理	
女子 200m 準決勝	25.23(+1.1)	鈴木 麻理	
女子 10000m 決勝	35.41.29	黒澤 夏楠	茨大2傑
女子 三段跳 決勝	12m21(+1.0)	遠藤 園子	
女子 七種競技 決勝	4736点	山口 真未	8位

## 第26回国公立22大学対校陸上競技大会

(2011/9/17~19 古河市中央運動公園陸上競技場：茨城)

今年度、第26回国公立22大学対校陸上競技大会は9月17日から3日間、茨城大学を主催校として古河市で行われました。今大会は、3年次が中心となって他大学の選手の分析を行い、女子は総合1位で2連覇、男子は総合3位以内を目指して試合に臨みました。女子はフィールドの部で1位でしたが、総合の部では惜しくも3位と、目標を達成することはできず、また男子は昨年の大会よりも1つ順位を上げたものの、総合5位と目標には届きませんでした。その中でも自己ベストを出したり、素晴らしいパフォーマンスを見せたりなど、活躍した選手も少なくなかっただけに男女共に悔いが残る大会となりました。

大会の準備・運営と競技との両立をしていく難しさや大変さが身に染みて感じられた大会だったのですが、この貴重な経験を来年度以降にも繋げていきたいです。

(文責：鈴木 香織)

### 22大学対校結果(入賞者)

種目	記録	氏名	順位等
男子 100m	10.67(-0.9)	伊藤 太一	1位
男子 200m	21.59(-2.7)	伊藤 太一	1位
男子 1500m	4.01.14	加藤 俊介	2位. 茨大9傑
男子 110mH	15.15(-1.4)	星 耕平	2位
男子 4×100mR	41.22	山本・伊藤・星・滑川	3位. 茨大2傑
男子 4×400mR	3.19.19	星・滑川・山本・川部	3位
男子 やり投	58m18	ホアン テ ウェン	3位
男子 ハンマー投	45m00	小林 朋寛	3位. 茨大新
女子 200m	25.52(-2.9)	鈴木 麻理	3位
女子 5000m	17.42.90	黒澤 夏楠	1位
女子 4×100mR	48.45	酒井・鈴木・林田・遠藤	2位. 茨大3傑
女子 4×400mR	3.56.23	肥田埜・林田・小島・鈴木	2位. 茨大新
女子 走高跳	1m68	林田 麻由	1位. 茨大2傑
女子 走高跳	1m62	山口 真未	3位. 茨大3傑
女子 三段跳	12m12(+1.6)	遠藤 園子	1位
女子 砲丸投	11m77	城所 舞	2位
女子 円盤投	35m86	星野 千恵	3位
女子 ハンマー投	40m86	鈴木 香織	1位. 茨大4傑
女子 ハンマー投	25m07	星野 千恵	3位



伊藤 (200m)



江口 (800m)



鈴木 香織 (ハンマー投)

## 第 62 回北関東 5 大学対校陸上競技大会

(2011/10/22 群馬県立敷島公園県営陸上競技場)

今年度の 5 大学対校戦は、群馬県の敷島競技場で開催されました。昨年の成績は、女子優勝、男子は 2 位で、あと一步というところで男女総合優勝を逃していました。また、1 ヶ月前の 22 大において、立てた目標に届かず非常に悔しい思いをし、5 大は何が何でも男女で優勝する、と高い意識を持って大会まで準備を進めてきました。3 年生が手作りの横断幕を作ったり、ブロックごとに事前に目標得点を綿密に計算したりするなど、幹部が中心となって士気を高めていきました。その甲斐あって、男女総合優勝の目標を見事達成し、女子においてはトラック・フィールド両方で優勝するなど、華々しい結果でトラックシーズンを終えることができました。個人の活躍も非常に多かったのですが、男女ともに 4×100mR で優勝したことは、チーム力の高さの証だと思います。

今大会はトラックシーズン最後の試合であると同時に、幹部交代で 3 年生が運営を行う最後の大会でした。今年の目標は「有言実行」。宣言通りに男女総合優勝を果たし、その目標を見事実現することができた大会だったと思います。しかし、この結果に満足せず、来年以降も連覇を続けていってほしいと思います。

(文責：城所 舞)

5 大学対校結果(優勝者)

種目	記録	氏名
男子 100m	10.57(+0.8)	伊藤 太一
男子 200m	21.39(-0.4)	伊藤 太一
男子 1500m	4.06.58	加藤 俊介
男子 100mH	15.16(-0.5)	星 耕平
男子 400mH	54.11	星 耕平
男子 4×100mR	41.45	山本・伊藤・星・滑川
男子 走幅跳	6m80(+0.1)	逆井 智也
女子 400m	58.84	肥田埜里枝
女子 1500m	4.50.76	黒澤 夏楠
女子 3000m	10.10.08	黒澤 夏楠
女子 400mH	1.08.07	小島恵梨香
女子 4×100mR	48.78	肥田埜・鈴木・林田・遠藤
女子 走高跳	1m60	林田 麻由
女子 走幅跳	5m35(+1.1)	遠藤 園子
女子 やり投	36m91	遠藤 園子



黒澤 (3000m)



木村 (3000m)

## 第 66 回三浜駅伝競走大会

(2011/12/4 ひたちなか)

12月4日に那珂湊を発着点に行われました。茨城大学からは男子2チームが出場し、結果はAチームが男子1部で優勝、Bチームが男子2部で7位でした。

Aチームは昨年よりタイムを3分縮め、久々の優勝に沸きました。しかし総合での順位は日立製作所、水戸工業高校に次ぐ3着であり、大学生の力を見せられず課題を残しました。Bチームは若いメンバーに経験者2人のチームで、初めて駅伝を走る選手もあり、大会前の練習や当日はチームに活気がありました。

また三浜駅伝は幹部が交代してから最初の大きな大会でもあり、新主将の下、区間へ送迎してくれたり、最初の1キロ地点の距離を測ってくれたりと選手が走りやすいように配慮してくれました。

今回の結果に満足せずに、来年度は完全優勝をして、茨城大学陸上競技部が普段お世話になっている地域の方々にアピールしたいと思います。

(文責：富井 一仁)

三浜駅伝結果(33.9km) 一般男子 Aチーム1位 Bチーム7位

	1区(6.1km)	2区(7.5km)	3区(3.3km)	4区(6.8km)	5区(4.5km)	6区(5.7km)
Aチーム	氏名	金田 祐輔	富井 一仁	浅川 瞭	加藤 俊介	小向 瑞樹
	区間	18.59	24.47	10.26	21.29	15.04
		(区間3位)	(区間3位)	(区間2位)	(区間1位)	(区間1位)
	総合	18.59	43.46	54.12	1.15.41	1.30.45
Bチーム	氏名	齋藤 圭介	福井 準	手倉森洋人	村田 賢哉	高野 和文
	区間	22.18	27.39	10.22	24.34	14.58
		(区間22位)	(区間15位)	(区間1位)	(区間9位)	(区間3位)
	総合	22.18	49.57	1.00.19	1.24.53	1.39.51



中長距離ブロック

## 第 12 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会

(2011/12/18 荒川河川敷：東京)

今年も荒川の河川敷で駅伝競走大会が開催されました。オーダーは 1 区から、加藤—浅川—江口—金田—小向—富井で走り、当日は天候に恵まれ、風も穏やかな駅伝日和となりました。

当初はチームの目標として、順位を 10 位以内、タイムも 2 時間 18 分と設定しましたが、結果は目標順位より 2 つ下、タイムも 47 秒及びませんでした。終わってみると、一人ひとりがあと 1km1 秒ずつ縮めることができているならば目標は達成できていたので、悔しさが残りました。今回は 1・2 年生に前半の長い区間を任せてしまい 3・4 年生が上の学年としての役割を果たしきれなかったのも敗因のひとつだと思います。

また、今回は女子連合チームに 3 人出場しました。1 区に 2 年次の黒澤が走り、自己ベスト・女子 MVP という活躍を見せてくれました。同じく 2 年次の木村は 3 区を走り、タイムを去年より 50 秒近く縮め、2 区で走った 1 年次の大貫は積極的なレースで良い走りを見せてくれました。

今回は中長ブロックとしても、部としても課題の残るものとなりましたが、この課題をしっかりと克服し、来年はさらなる飛躍を目指したいと思います。まだ若いチームであるので、全員が今ある状況に満足せず、どんどん上を目指すように取り組んでいきたいです。

(文責：小向 瑞樹)

荒川駅伝結果 (42.195km) 総合順位 12 位

	1 区 (10km)	2 区 (3km)	3 区 (8km)	4 区 (8km)	5 区 (5km)	6 区 (8.195km)
氏名	加藤 俊介	浅川 瞭	江口 遼	金田 祐輔	小向 瑞樹	富井 一仁
区間	32.22	9.33	26.24	26.06	16.42	27.36
順位	(区間 14 位)	(区間 15 位)	(区間 17 位)	(区間 7 位)	(区間 14 位)	(区間 13 位)
総合	33.22 (14 位)	41.55 (13 位)	1:08.20 (14 位)	1:34.27 (11 位)	1:51.10 (12 位)	2:18.46 (12 位)

女子連合 A

女子連合 B

	1 区 (10km)	3 区 (8km)	2 区 (3km)
氏名	黒澤 夏楠	木村 世奈	大貫 綾子
区間	34.05	30.41	11.03
順位	(区間 1 位)	(区間 1 位)	(区間 3 位)



## 第 60 回勝田全国マラソン

(2012/01/29 ひたちなか)

1月29日に今年で第60回目となる勝田全国マラソンが開催されました。毎年恒例、今年度が最終学年である院2年生と4年生が出場し、その他にも中長距離のメンバーや、OB・OGの多くの方が参加しました。

近年のマラソンブームにより全参加者は昨年より多い21,301人であり、今年から30km地点に関門が設置され、スタートから4時間30分で30km地点を超えていないと打ち切りになります。

当日は天候に恵まれ、走りやすいコンディションのなか、号砲が鳴り響き一斉にスタートしました。沿道からの声援が絶えず聞こえ、なかにはチョコやアメ、水などの飲み物を用意して応援してくださる方もいました。また、私設ガイドも多数あり、茨城大学の名が入ったTシャツで走っていると「茨大ガンバレー!」とたくさんの人から励ましをもらい、地元の温かさを感じられました。さらに、部員が数箇所に分かれて応援・サポートをしてくれたことで、42kmの長い道のりも楽しんで走ることができたと思います。30km地点に関門ができ、全員完走できるか不安がありましたが、全員がベストを尽くし無事に完走することができました。

10kmの部では、女子39歳以下の部で2年次の黒澤が2位と健闘しました。その他の選手も自己新をマークした者や実力を出し切れなかった者もいましたが、どの選手もここで見えた課題を改善し、春先からの好記録に期待したいところです。

(文責：秋庭 寛史)

### 勝田全国マラソン結果

男子フルマラソン					
氏名	記録	順位	氏名	記録	順位
小向 瑞樹 (4)	03:05.1	535	山本 悠輔 (M2)	05:19.1	7371
秋庭 寛史 (4)	03:41.4	2343	松村 俊 (4)	05:46.1	8115
手倉森洋人 (M2)	03:42.0	2370	堀越 成志 (4)	(6:41)	完走
高野 和文 (4)	03:55.3	3293			
男子39歳以下10km					
江口 遼 (1)	33.23	22	金田 祐輔 (1)	35.1	36
女子フルマラソン					
荻生めぐみ (4)	04:41.3	11793	城所 舞 (4)	(6:41)	完走
遠藤 園子 (4)	(6:41)	完走			
女子39歳以下10km					
黒澤 夏楠 (2)	34.45	2	木村 世奈 (2)	39.14	13



## 第9回国公立22大学対校駅伝大会

(2012/2/11 熊谷スポーツ文化公園内：埼玉)

今年で第9回目となる国公立22大学対校駅伝大会が埼玉、熊谷スポーツ文化公園で開催されました。今年は、快晴でしたが終始強風が吹く中での試合となり、選手にとって多少走りにくかったかもしれません。

結果は、男子総合12位、タイムは2時間6分59秒でした。1区の7位から4区の6位と順位を1つ上げましたが、5区で5つ、最終6区で1つ落としてしまいました。

今回は、後半での順位の落ちが著しく、このことからチームの底上げが必要であると実感しました。

応援、サポート体制は万全で、各応援場所からの声援は非常に走る選手の支えになっていたと思います。

(文責：齋藤 圭介)

22大学対校駅伝結果 (38.58km) 総合順位12位

	1区(9.72km)	2区(3.14km)	3区(7.69km)	4区(5.17km)	5区(5.17km)	6区(7.69km)
氏名	金田 祐輔	浅川 瞭	加藤 俊介	江口 遼	齋藤 圭介	富井 一仁
区間	30.54 (区間7位)	10.05 (区間11位)	24.48 (区間7位)	16.29 (区間5位)	18.53 (区間16位)	25.50 (区間14位)
総合	30.54	40.59	1.05.47	1.22.16	1.41.09	2.06.59



金田 (1区)



加藤 (3区)



江口 (4区)



富井 (6区)



ii) その他の主な競技会の結果

茨城県選手権 (2011) 8位入賞者

種目	記録	氏名	順位等
男子 100m	10.56(+1.4)	伊藤 太一	1位
男子 200m	21.57(+0.4)	伊藤 太一	1位
男子 800m	2.00.79	江口 遼	8位
男子 110mH	15.10(+1.1)	星 耕平	5位, 茨大新
男子 3000mSC	10.02.68	金田 祐輔	7位
男子 3000mSC	10.06.97	手倉森洋人	8位
男子 4×100mR	42.51	逆井・星・川部・伊藤	2位
男子 4×400mR	3.26.44	松村・川部・星・本囧	6位
男子 円盤投	37m68	ホアン テ ウェン	6位
女子 100m	12.12(+1.7)	鈴木 麻理	1位
女子 200m	25.10(+1.7)	鈴木 麻理	2位
女子 5000m	17.13.50	黒澤 夏楠	4位
女子 4×400mR	4.00.45	山屋・鈴木・小島・林田	2位
女子 走高跳	1m60	林田 麻由	3位
女子 砲丸投	10m17	鈴木 香織	8位
女子 円盤投	34m87	星野 千恵	7位
女子 円盤投	34m60	鈴木 香織	8位
女子 ハンマー投	35m69	鈴木 香織	2位
女子 七種競技	4788点	山口 真未	1位, 茨大新

その他の競技会 (入賞者のみ記載)

大会名	日時	種目	記録	氏名	順位等
関東選手権	8/21	男子 200m	21.37(±0.0)	伊藤 太一	2位
	8/19	男子 4×100mR	41.87	山本・伊藤・星・滑川	2位
	8/21	女子 100m	12.62(-1.1)	鈴木 麻理	8位
	8/20	女子 200m	25.22(-0.2)	鈴木 麻理	5位
	8/20	女子 5000m	17.22.93	黒澤 夏楠	4位
	8/19	女子 10000m	37.43.91	木村 世奈	3位, 茨大3傑
	8/21	女子 走高跳	1m65	林田 麻由	1位
岩手県選手権	6/25	男子 800m	2.00.92	高野 和文	3位
	6/24	男子 1500m	4.13.23	高野 和文	6位
	6/24	男子 1500m	4.14.41	小向 瑞樹	7位
宮城県選手権	7/18	女子 三段跳	12m17(+2.9)	遠藤 園子	1位
	7/19	女子 走幅跳	5m43(+0.9)	遠藤 園子	1位, 茨大6傑
栃木春季大会	4/16	女子 ハンマー投	28m59	城所 舞	1位, 茨大6傑
栃木県選手権	5/28	女子 円盤投	35m08	城所 舞	1位
	5/29	女子 砲丸投	11m74	城所 舞	2位

### iii) その他の活動

#### 協力審判員

私たち茨城大学陸上競技部は、競技者としてだけではなく、協力審判員としても陸上競技に関わり、活動しています。例年、笠松スポーツフェスティバル陸上競技記録会等を中心に協力校として審判員活動を行ってききましたが、今年度は東日本大震災の影響により、笠松スポーツフェスティバル陸上競技記録会の開催が中止となりました。そのため、茨城県中学校体育連盟主催の大会を中心に審判員活動を行いました。

審判員活動を通じて、私たちが運営の方に回ることで、1つの大会においても運営をするために多くの人が裏で支えてくださっていることに改めて気付くことができました。また、組織として動くときの自らの責任など、競技者として競技を行っているだけでは感じられないような貴重な経験ができたと思います。今後も積極的な審判員活動を行い、たくさんの事を学び、競技者としてより一層成長していきたいと思っています。

(文責：林田 麻由)

#### 主な審判員活動の内容

跳躍審判, 投擲審判, 監察員, 周回記録員, 風力計測員, 写真判定員, 記録員, 競技者係, 出発係, 光波計測員

2011年度審判補助員活動一覧

月日	大会名
5/3	中学記録会
6/4	中学記録会
6/11	中学記録会
6/28	全日本中学通信陸上競技大会
7/2~3	茨城県選手権大会
7/17	総合体育大会陸上競技大会
9/17~19	国公立22大学対校陸上競技大会
10/8	中学新人陸上競技大会
10/9	中学新人陸上競技大会

#### 茨城大学・宇都宮大学・千葉大学合同合宿

12月23日から25日にかけて、とちぎ海浜自然の家にて宇都宮大学・千葉大学と合同で冬合宿が行われました。北関東5大学対校戦で世代交代してから、部の中心となった学年にとっては初めての大きな行事となります。1日目は午前中が競技場練習、午後からは海浜自然の家にて、短距離・中長距離・フィールドに分かれて、砂浜練習や坂練習、クロスカントリーなどに取り組みました。最終日には毎年恒例の全ブロック合同でのエンドレスリレーがあり、ブロックの枠を超えて交流が出来たと思います。

この合宿は、他大学と練習して刺激し合えるだけではなく、他大学を含め陸上競技部全体で寝食を共にし、情報の交換やお互いを知り合うなどと、絆を深められる機会でもあります。辛い練習もありましたが、ブロック・大学の枠を超えて高めあい、励ましあい、最後には全員で笑いあえる素晴らしい合宿となりました。来年の対校戦では、良きライバルとしてお互いに成長した形で会えることを楽しみに、これからの練習に取り組んでいきたいと思っています。

(文責：辻 はるか)

### Ⅲ. 2012 年度シーズンの抱負

#### 主将抱負

主将 伊藤太一

今年度の活動方針として、「挑戦!現状打破!!」としました。「挑戦」とは自分、ライバル、記録、目標に向かい前向きに新しいことに挑戦していくこと、「現状打破」とは現状のなかで、部・ブロック・自分にとっての改善点を見つけ、それを変えていくこと、今までは出来ないからと目をつぶっていたことに目を向け、殻を破って取り組んでいきたいという思いを込めました。今の自分の練習や生活を見直すことで、より高い意識を持ち続けることが出来ると思います。大学で陸上競技を続けている人は本当に陸上競技が好きなのだと思います。だから、私は陸上競技を楽しめるような雰囲気を作っていきたいです。

私の目標は各々が明確な目的を持ち、切磋琢磨し合いながら練習を作っていくことです。その結果が「自己ベスト」へとつながり、最終的にそれが私たちの目標達成につながると 생각합니다。陸上競技において、自己ベストを出すという事は大切だと思います。全員が自己ベストを出すことで、部活全体の士気を上げることにつながり、個人の結果だけではなく、対校戦などのチームとしての結果にもつながると 생각합니다。ですから、「全員自己ベスト」という目標をもって欲しいです。

また、今年は北関東 5 大学対校陸上競技大会の主催校となっています。OB・OG の方々にはお世話になることが多いと思いますがよろしくお願いします。部員一同、主催校の名に恥じないパフォーマンスで大会を盛り上げ、成功へと導けるよう努力していきますので応援のほどよろしくお願いします。

#### 主務抱負

主務 肥田瑩里枝

まさか自分になるとは思ってもいなかった主務になり、4 ヶ月が経ちました。部を引っ張る立場としてはまだまだ未熟者です。しかし、部の皆さんがよりよい環境で、競技に集中できるよう、先生方、他のスタッフの皆、部員と、しっかりコミュニケーションをとりながら、主務として部の運営に取り組みます。不安な点もありますが、仕事を終えた時、一回り大きく成長した自分に出会えたら良いと思っています。

また、今年は北関東 5 大学の主催の年でもあります。様々な困難もあると思いますが、スタッフ一同、成功するよう全力を尽くします。OB・OG の方々には、大変お世話になるとと思いますが、ご協力よろしくお願いします。

至らない点多々あると思いますが、1 年間、自覚と責任をしっかり持って、運営面・競技面、共に取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願いします。

#### 短距離ブロックの抱負

短距離ブロック長 伊藤太一

今シーズンの短距離ブロックにはチームのムードメーカーになって欲しいです。それは、試合・練習どちらにおいても同じです。そのためには、まず試合に勝つことだと思います。短距離ブロックの活躍によって他ブロックに刺激を与え、他ブロックの頑張りから刺激をもらい、チームを盛り上げていきたいです。

短距離は怪我が多いので怪我をしないことも大切だと思います。1 年間怪我なく対校戦で戦えることはチームにとっても、個人にとっても良いことです。各々で目標は違いますが、チームのために自分に何が出来るかを考えて行動していきたいです。

チームを盛り上げるためには、リレーで勝つことが重要になってくると思います。今シーズンは男女のリレーで、茨城大学記録の更新が期待出来ます。個人の結果も大切にしたいですが「チームのために走ることができる」という喜びや感謝の気持ちを忘れずに、茨城大学陸上競技部の代表として走っていきたくと思っています。今年は昨年より飛躍の年になるよう短距離一丸となって

頑張っていきますので応援よろしくをお願いします。

### 中長距離ブロック長の抱負

中長距離ブロック長 加藤俊介

昨年度のシーズンでは対校戦での中長距離の得点は増えましたが、ブロックとしての総合力は他ブロックと比べるとまだまだです。その1つに対校戦において入賞する選手が限られているということが挙げられます。

そこでブロック全体の競技力の底上げを今年の目標にします。

各個人が今の競技力をひとつでも上の段階に到達し、自己ベストを出すことが出来るように、ブロック長として日々の練習への取り組み方や体調管理など、競技面に影響することに関してしっかりと呼びかけ、また態度で示せるように頑張りたいと思います。

### 跳躍ブロック長の抱負

跳躍ブロック長 山口真未

今シーズンの跳躍ブロックの目標は、競技力の向上と大会での上位入賞です。これは毎年度掲げている目標ではありますが、やはり競技スポーツを続ける大きな意味であると捉えています。現段階の跳躍ブロックは、昨年1年生の入部数が0であった為、上級生で構成されています。今シーズンがラストとなる学生が半数以上を占めるので、この目標は必ず達成されなければなりません。その為には、競技力向上に直結するような中身のある練習（走力・パネの強化）を確実にこなし、同時に怪我防止に努めていく必要があります。

また、私が掲げるコンセプトとして、「陸上競技を楽しむ」といったものがあります。嫌々行う練習にプラスの意味など何も無く、ただ時間を浪費しているだけだと思うのです。人生楽しんだもん勝ち!という言葉があるように、短い学生陸上も楽しんだもん勝ちだと思います。今シーズンが終わって、跳躍の皆さんが「楽しい、良いシーズンだった」と思えるように、ブロック長として全力で皆さんをサポートしていきます。私自身も、ブロックや部を盛り上げられるような結果を残し、貢献していきたいです。1番学年が下で、とてつもなく頼りないブロック長ですが、どうぞ1年間よろしくをお願いします!今年も楽しくにぎやか且つ、最高のシーズンにしましょう!

### 投擲ブロック長の抱負

投擲ブロック長 星野千恵

今シーズンの投擲ブロックは日本インカレ標準突破を最低1人は出すということを最終目標にしています。そのためにはブロック全体でのレベルアップが必要です。練習・競技への姿勢や取り組み方を見直し、専門種目はもちろんのこと多種目における知識や見る目を高めるなど、1人1人が積極的に行動し全員でブロックを盛り上げていきたいと思っています。

現在投擲ブロックは新3・4年生で構成されており、これから教育実習や就職試験等により全員で練習する機会が限られてきます。その中でも今まで投擲ブロックが築いてきた“ブロック力”を衰えさせることのないように、ブロック内での情報共有やサポートを大切にしていきたいと思っています。高齢化が進む我がブロックですが、今年こそは春から新入生がたくさん入ってくる(つもりでいる)ので、フレッシュさを吸収しつつ良い意味ででしゃばっていききたいと思っています。体格だけじゃない、存在感!ブロック長をはじめ、個性が過ぎるメンバーが集う投擲ですが“らしさ”を大切にしつつ投擲も記録も結果もメンバーもとにかく何事も大胆にでっかくいきますので今後もよろしくお願いたします。

## ハードルパート長の抱負

ハードルパート長 柴俊博

ハードルパートは1人1人が自分の課題を設定し、メニューを立てていく形を取っていこうと考えています。個人個人で目標や課題は異なると思いますが、それを達成するために何が足りないのか、どういったメニューをこなすべきなのかを自分自身で考えていき、競技力を向上させていきたいです。また、パート内でコミュニケーションをしっかりと、自分にない物を学び積極的に取り入れていけるようなパートにしていきたいです。

自分自身もパート長として密にコミュニケーションをとっていき、コンディションの把握、ケガの防止につとめたいと思います。対校戦でしっかりと得点に絡み、チームを盛り上げていけるパートを目指します。

## マネージャーブロック長の抱負

マネージャーブロック長 石津美阿里

マネージャーブロックとして、選手のみなさんが実りある練習ができたり、少しでも満足のいく結果につながるように、全力でサポートしていきたいと思っています。マッサージにおいても、選手の方からアドバイスをいただいたり、マネージャー同士で試してみたりと常に向上心を持っていきたいと思っています。ただ仕事をこなすのではなく、1つ1つのサポートにきちんと意味を持ちながら行動していきたいです。そして先輩方から学んだことを生かし、陸上を通して様々な面で成長していけたらと思います。今年の活動方針でもある「挑戦!現状打破!」をマネージャーブロックからも少しずつですが、あらゆる形で表現していきます!

## 日立ブロック長の抱負

日立ブロック長 川部優太

現在、日立ブロックは4年生、院生の方々が抜けて、3人での活動となっています。授業も忙しく、3人集まって練習する機会も多くはありません。そんな中でも1人1人が茨城大学陸上競技部の一員であることを自覚し、練習に取り組んでいます。

4月からは、1年生3人が日立ブロックとして合流することになります。これまで以上に、日立ブロックを盛り上げていき、日立ブロックだから…と言われたいよう、成績にもこだわっていきます。また、週2回のポイント練習でも、日立ブロックが水戸のメンバーを刺激してより良い練習が出来るようにしていきます。

私がブロック長になったからには、存在感のある日立ブロックを目指していきます。これからも日立ブロックをよろしく願います。

#### IV. 2012 年度活動予定

##### 2012 年度活動予定

日程	大会名	場所
5/12～13, 19～20	第 91 回関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ）	国立競技場・日本大学陸上競技場
6/22～24	2012 日本学生陸上競技個人選手権大会	平塚市総合公園平塚競技場（神奈川）
7/5～7	第 66 回茨城県陸上競技選手権大会	ケーブデンキスタジアム水戸
8/5	第 47 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦	千葉総合スポーツセンター陸上競技場
8/	茨城県陸上選手権国体予選	未定
8/	第 85 回関東陸上競技選手権大会	未定
8/	第 60 回関東甲信越大学体育大会	未定
9/9～12(予定)	第 81 回日本学生陸上競技対校選手権大会（日本インカレ）	国立競技場・日本大学陸上競技場
9/14・15	第 23 回関東学生新人陸上競技選手権大会	国立競技場
9/	第 27 回国公立 22 大学対校陸上競技大会	未定
10/	国民体育大会	未定
10/27	第 63 回北関東 5 大学対校陸上競技大会	笠松運動公園
10/	第 89 東京箱根間往復大学駅伝競走予選会	昭和記念公園（東京）
11/	第 10 回国公立 22 大学対校駅伝大会	未定
12/4	第 67 回三浜駅伝競走大会	ひたちなか(那珂湊)
12/	第 13 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷（東京）
12/	宇都宮大学・千葉大学合同合宿	未定
1/26	第 61 回勝田全国マラソン	ひたちなか
3/	春合宿	未定
3/	第 15 回日本学生ハーフマラソン選手権大会	昭和記念公園（東京）
3/	関東学生春季オープン陸上競技会	国立競技場
3/	第 22 回楮川駅伝競走大会	楮川ダム（水戸）



## V. 卒業・修了生より

### 手倉森洋人

学部生、院生として過ごしたこの茨城大学陸上競技部での6年間…思い返してみると本当にあつという間でした。しかし、その中で多種多様な考え方や目標を持つ人たちに出会い、試合や部活の運営などを通じることでこんな私でも少しは成長できたのではないかと思います。特に、院生という立場から現役生にはいつも偉そうなことを言っている私ですが、それらの言葉一つ一つには今まで出会った人たちの考え方や思いが含まれていて、それが今の自分を創っているということを改めて実感しています。現役生の皆さんは、これからもっと多くの人と出会うことでしょう。自分が成長するためには他者から得られるものはとても多いものです。ですから、もし自分にとって受け入れがたいことでも初めは素直に受け入れ咀嚼することで自分なりの考え方を見つけ出し、競技面だけでなくヒトとしても大きく成長していったと思います。



また、4月からは私も(ついに!)OBになります。陸上は続けていこうと考えています。卒業してからも陸上を続け輝いている方々を見て、自分も頑張らなければと感じたように、少しでも誰かに影響を与えることができたらなあと思っています。

最後になりましたが、先生方を始め、OB・OGの方々、後輩、そして同期のみんな、6年間お世話になりました。走る事が本当の意味で楽しめたのは皆さんのおかげだと思っています。みんな大好きです。本当にありがとうございました。

工学部/物質/中長距離

5000m・15分31秒30 / 1500m 4分09秒12 / 3000mSC・9分36秒96

### 山本悠輔

2012年1月29日。それは私にとって借りを返す日でした。そう、勝田マラソン。今回は無事(ではないけれど)6時間を切ることができました。部員の皆さんをはじめ、たくさんの方が自分を応援してくれることにこの上ない幸せを感じ、どれだけ辛くてもゴールを目指し続けることができました。応援ありがとうございました。

そして3月、6年間を過ごした茨城大学での生活にも、区切りを付けなければいけない時を迎えました。たくさんの同期に恵まれた4年間から、大学院に進学した時のギャップは想像以上に大きく、思うように動かない体と寂しさに悩む事もありました。ですが、足繁く大会に駆けつけてくれる仲間や先輩に良い所を見せたい、先に卒業していく後輩のために何とかバトンを繋ぎたい、「悠輔さんのために走る」と言ってくれる後輩たちに応えたい、そんな気持ちで走り続けることができました。また、大学院に進学したからこそ一緒に活動することができた人もたくさんいます。これまで築いてきた多くの人々との繋がりは一生の財産です。皆さんも、色々な人との出会いを大切にしてください。



このまま陸上競技部に居続けられるのではないかとこの錯覚を感じるほど、茨城大学陸上競技部で過ごした日々は居心地がよく、私に浸透したものでした。茨城を離れることをまだ想像すらできませんが、これからは6年間で学んだことを、社会人としての生活に活かしていくとともに、先輩方がしてくれたように後輩の活躍を楽しみにして、あわよくば選手として練習や試合に足を運びたいと思います。

最後となりますが植田先生、上地先生、渡邊先生、支えて下さった多くの方々、そして家族に感謝の気持ちを伝えたいと思います。6年間ありがとうございました。

教育学部/保健体育/短距離

100m・11 秒 15 / 200m・22 秒 76

#### 秋庭寛史 「茨城大学陸上競技部での4年間」

月日が経つのは早いものですね。あっという間に大学生活が終わりを迎えました。振り返れば様々な思いをし、様々なことが思い浮かんできます。自己ベストを出し、喜んでいた時。フルマラソンの楽しさを知った時（4年間、勝田マラソンに出ました）。競技や走ることに向き合えなかった苦しい時。なぜ、もっと努力しなかったのかと後悔した時。思ったことは様々ですが、それら全てが今の私の礎となりました。

茨城大学陸上競技部で経験したことの多くが社会に必要なことであり、多くのことを学びました。当たり前のことを当たり前に行う、これは一見簡単そうですがそうではないです。しかし、茨城大学陸上競技部はこの事を行うことができている、素晴らしいと思うと同時に、いい環境で過ごすことができ良かったと思います。

私たちの代は、7人と少数でありながら日立が2人、私が阿見（阿見に移ってからの3年間ずっと1人でした）と水戸に4人しかいないという異例な代でした（男子の体育科がいなかったことも）。それでも部の運営の中心となり、運営していた4人には苦勞をかけて申し訳なかったと思いつつ、それ以上に感謝しています。また、上地先生、渡邊先生、小川コーチ、OB・OGの皆さま、先輩、後輩、4年間で関わってきた全ての方々に感謝致します。本当にありがとうございました！今後は好きなマラソンを中心に走っていきます。

農学部/資源生物/中長距離

5000 m・16分3秒47 / 10000m・33分55秒98 / マラソン・2時間45分41秒



#### 遠藤園子 「4年間の陸上競技」

茨城大学陸上競技部で過ごしたこの4年間でとても多くのことを学び、大きな経験をさせていただきました。この4年間、周りの人に励まされ、支えられ（それはもう支えてもらわなければ立ってられないくらい…）、迷惑ばかりをかけて過ぎてきてしまったように思いますが、この4年間で、たくさん大切なものに出会えたように思います。しかし、4年間の陸上部での生活の中には、楽しいことの反面、大変なこともありました。1年生～2年生の前半までは全く記録は伸びず、むしろ低迷してしまうばかりで陸上競技に対して本気になって取り組むことができなくなった時期もありました。「私がしたかったのはこんな事だったのか?」、「大学まで陸上をやってきて何をしているんだ。」という葛藤が続きました。そんな時に病気にかかってしまい1週間で体重が5kg近く落ち、冬季練習を完全に中断してしまい、どん底に落ちた気分だったのですが、先生方や先輩、後輩、同期の友人や家族に支えられ、その後のシーズンで良い結果を残すことが出来ました。特に家族は東日本大震災で大きな被災をしてしまいましたが、試合へも何度も応援に駆けつけてくれました。この陸上部での活動を通して、支えてくれる方々への感謝を感じる事が出来ました。これから少しずつでも恩返しができるように努力をしていきたいと思っています。



4年間の陸上競技について思い返してみると「楽しかった」という一言に尽きると思います。陸上競技に真剣に取り組む、競い合う醍醐味を知り、競技を心から楽しむ事が出来ました。さらに、少しではありますが、陸上競技部に所属し、人間として成長することができたと思います。しかし、まだまだ未熟な人間で、たくさんの失敗をして迷惑をおかけしてしまうこともあるかと思えます。幸いにもまだ学べる時間があるので、競技力だけでなく人間性を磨けるよう精進していきたいと思っています。

最後になりますが、上地先生、渡邊先生をはじめお世話になったすべての方に感謝いたしますと同時に、これからもまたよろしくお願い致します。

教育学部/保健体育/跳躍

三段跳・12m31 / 走幅跳・5m43



## 荻生めぐみ 「4年間を振り返って」

4年間を振り返ると、1番楽しかったのも部活であり、1番苦しかったのも部活だったなあとしみじみ感じます。それだけこの4年間、陸上競技部で過ごした時間はとても貴重なものとなりました。

初めは選手として入部したものの、選手を続ける自信も意欲も失い逃げ出したくてたまらなかった…でもこのまま部活を辞めたら絶対に後悔すると思い、藁にもすがる思いでマネージャーに転向しました。いざマネージャーになっても、自分のサポートが本当に選手のためになっているのか不安で、自分の存在意義に悩んでばかりでした。しかしどれだけ苦しんでも、不思議とマネージャーを辞めたいと思ったことは一度もありませんでした。

それはいつも支えてくれる部員の皆さんがいてくれたからだと思えます。サポートをする立場でありながら、目標に向かってひたむきに頑張る姿や仕事をする度に言ってくれる「ありがとう」の言葉にいつも励まされてばかりでした。本当に感謝しています。

部活の運営や大会の主催、マネージャーの仕事、本当にたくさんを経験させていただきました。うまくいなくて苦しんだ時期もありましたが、それもこれも全部含めて良い経験となり自分を大きく成長させてくれました。これから社会に出るにあたって、きっと大きな財産になると信じています。

最後になりましたが、上地先生、渡邊先生、OB・OGの先輩方、部員の皆さん、本当にありがとうございました。これからはOGとして、遠く離れた地から後輩の皆さんのことを応援しています。

教育学部/健康/マネージャー



## 城所舞

大学生活の4年間を振り返ってみると、そのほとんどが部活での思い出で埋め尽くされています。私が入学してきた時は、投擲は私を含めて3人しかおらず、やっとブロックと呼べるようになった頃でした。ウェイト場にて3人で叫びながらのたうち回っていた日々がとても懐かしいです。当時はサークルのネットもなくフェンスのようなものでガードしていたのですが、その後ネットが立ち、ブロック員が増え、立派にブロックとして成立するようになりました。時間とともにメンバーも環境も変わりましたが、4年間の部活動はどこを切り取っても楽しく充実した日々でした。

競技面を振り返ると、全国大会で活躍することを目標に入学してきたのですが、自己管理不足故の激やせ(-6キロ)で1年時は体力を取り戻すのに必死で、その後もほとんど記録を伸ばすことができませんでした。非常に悔やまれますが、部活動で得た経験はその悔しさを上回るほど貴重なものばかりです。2年から3年にかけて、主務を務めさせて頂きましたが、そこでの経験は陸上競技に対する視点、視野を大きく変化させる程のものでした。運営で苦勞した点は非常に多かったですが、それも含めてとても良い経験をさせて頂きました。

大学に入学する時、陸上を続けようか本気で迷っていたのですが、続けてよかったとはっきり言いきれず。部活としての陸上競技は終わりを告げましたが、今後も何らかの形で関わって行きたいと考えています。ランナーに転向することはまずないので競技をやるとしたらまた何か投げたいですね(笑)陸上で培ったものを、今後存分に生かしていけたらと思います。皆様本当にありがとうございました!

教育学部/保健体育/投擲

砲丸投・12m33 / 円盤投・37m57/ やり投・31m06 / ハンマー投・28m60



## 小向瑞樹 「大学の陸上競技を振り返って」

この4年間は長いようであつという間のものでした。私は一年間浪人していた為、最初の1年は身体作りで精一杯でした。また、大学に入り、自分で考え・工夫し、実行に移すなど高校とは違う環境に戸惑いながらの日々を送ったなと思います。

2年生では徐々に記録も伸びるようになり、様々な大会に出ることで自分なりの成長を感じました。3年生は陸上競技部主将として、中長距離ブロック長として、時に悩みながら考え・苦しみ・挫折しながらも、1歩ずつ前に進めたのではないかと実感しています。この1年間は私にとってかけがえないものとなりました。

最終学年の4年生ではなんとか自己ベスト・チームに貢献しようと思い取り組みました。全く思うように走れない時期が続く時期もありましたが、1つずつ修正し取り組めたことで徐々に調子を上げることができましたが最終的には目標には届きませんでした。しかし、自分なりに満足いくシーズンとなりました。

自分が何か茨大陸上部に足跡を残したと思うのは競歩です。今までいたかいなかったのか大学の記録にはなく、私自身高校のときみようみまねで出場していたので、先輩に出てみないかといわれ22大で出場したのが契機でした。競歩人口は少ないので出れば入賞でしたので頑張ってみようと思い、実際に22大では5000wですが6位―5位―4位―7位(10000w)と連続で入賞できました。3年次には関東インカレで10000wに出場したのが本当に嬉しかったです。そして、茨大記録にもなりましたので当分は抜かれないことに願いながら、新たなウォーカーが記録を抜くことを期待しています。

周囲の人達が、なぜ4年の最後まで頑張るのかといわれることもありました。私自身考えるときもありました。この時に何か別に行えることはなかったのか、もっと楽しいことがあったのではないかと思うこともありました。しかし、最後まで続けたお陰で周りの人達にはわからない確固した「自信」を手に入れることができたと思います。中学校から大学までの長い期間ずっと走り続けたことが本当に良かったなと感じています。おかげで、就職先も体力を使う場所なので精一杯アピールしたいなと思います。

これからも走ることはやめないと思います。せっかくここまで頑張ってきたのだからもっと上を目指します。まずはフルマラソンキロ4で走り続けたいなと思っています。また、勝田マラソンが今年で60回目を迎えましたが是非70回・80回大会に出続けて陸上部に勝負を挑めればなと思います。

最後になりましたが、今まで陸上競技ができたのは周りの人達のおかげだと思います。時に厳しく時に優しく先生方・コーチ、頼もしかった先輩方、可愛い後輩たち、そして少ないながらも一緒に頑張ってきた同輩たちのおかげです。本当に感謝の気持ちで一杯です。その気持ちを胸に社会に出ます。

人文学部/人コミ/中長距離

1500m・4分08秒92 / 5000m・16分21秒24 / 10000w・49分38秒28

## 高野和文 「私にとって陸上競技とは」

皆さんは陸上競技を続けていて一度は、「自分にとって陸上競技とは何なのか」というのを考えたことはないでしょうか。その答えは人によって、健康維持法のひとつであったり、己を高めるためであったり、あるいは趣味の一環であったりと様々であり、どれが正解というものではありません。そんな中、この文章を書くことになり良い機会だと思い、改めて「私にとって陸上競技とは何なのか」ということを振り返ってみることにしました。

私は高校から陸上競技を本格的に始めました。中学時代は野球をやっていたのですが、3年間レギュラーをとること無く終えてしまい、高校に入学した際には野球以外のスポーツをやってみようという軽い気持ちと、野球部の監督やコーチ、チームメイトから前々から「お前は走塁だけは速いよな」という皮肉染みた言葉から陸上競技の道へと進んだのでした。そう考えると高校で陸上競技を始めた当初の私にとっての陸上競技は、どちらかというネガティブで「見返してやる」という意味合いが強かった気がします。

高校3年が終わるころには、野球部のときレギュラーをとることができなかつた私が、少なくとも県ではそこそこ戦うことができるようになり、私にとって陸上競技は自信、あるいは満足感を得るための場が変わっていました。そういった、自信とか満足感



を得るための場というのは今現在でもそうであるし、これから先もずっとそうであると思います。

ただ、この大学での陸上競技生活を終え、それだけが全てなのかと問われたらノーと答えるでしょう。もしも陸上競技をやっていないと出会ったことすらなかった人たちがたくさんいて、その人たちと出会い自分が知らない知識や考え方を共有することができ、大切な仲間もたくさんできたというのは一生の宝であると思います。また、この茨城大学陸上競技部に入部した当初の私はまだまだ子供で、つまらないことでキレたり、何を考えているのか分からないと先輩や先生からお叱りを受けたりと、なんとまあどうしようもない子でした。そんな私をそれなりの人間に成長させてくれたのも競技自体や陸上競技を通じて出会った人たちのおかげでした。そういった意味で陸上競技は自分にとって肉体的だけではなく精神的にも成長させてくれるものだと思います。

春から新しい生活がスタートしようとしている今、9年間続けてきた陸上競技はそういった意味を超えて、「日常」という領域にたどり着きそうです。結局は、練習がキツイだとか、タイムが伸びないだとか、意味がどうのだとかを全部ひっくるめて陸上競技にどっぷり漬かってしまっていて、好きなのだと(笑) これからも、まだまだ陸上競技との長いお付き合いを続けていきそうです。とまあ、長々と「私にとって陸上競技とは何なのか」と考えた結果、私は「日常」に行き着いてしまった訳ですが、最初に書いたとおりその答えは十人十色です。皆さんも今一度このように陸上競技について考えてみるのもいかがでしょうか。ひょっとしたら、前とは違う答えに辿り着くかもしれませんよ。

最後に皆さんと陸上競技への感謝の言葉を述べて、筆を置きたいと思います。お世話になりました。ありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いします。

工学部/情報/中長距離

800m・2分00秒02 / 1500m・4分05秒61 / 3000m・9分10秒90 / 5000m・15分58秒23

## 松村俊

自分は中学、高校、大学と陸上を続けてきましたが、この大学4年間で1番辛かったです。自分がブロック長をやっていたとき、記録が出ず、対校戦でも成績を残せず、また練習でも引っ張って行くことができず、改めて自分の力のなさを思い知らされました。でもそんな自分をいろいろな人たちが支えてくれて、なんとか乗り切ることができました。そして改めて、周りの人たちあっての自分だということを実感しました。

この4年間は辛かったと書きましたが、それと同時に充実もしていました。陸上の知識についてはもちろん、それ以外に日常的なことについても多くのことを学ばせてもらい、少しは人間的にも成長できたのではないかと思います。今後社会に出た時はその経験を生かしていきたいと思います。

卒業後は茨城大学大学院に進学し、陸上も続けていきます。院での研究もあって辛くなると思いますが、しっかりとやっていこうと思います。

最後になりましたが、4年間ご指導してくださった上地先生、渡邊先生、小川コーチ、そして支えてくれた先輩方、後輩たち、同期のみなさん本当にありがとうございました。

工学部/電電/短距離

100m・11秒51 / 200m・23秒46



## VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ

### 井川勝彦

こんにちは。お元気ですか。早いもので、自分が茨城大学を卒業してからまもなく一年が経とうとしています。昨年は震災の影響で、後輩たちのみなさんは例年に比べ、まともに練習ができない状況だったと思います。最初は「もう今年はダメか」なんて思ったりしましたが、後輩たちの活躍を生で見たり、掲示板を通して知ったりして、改めて後輩たちの凄さを思い知らされました。自分の予想はまだまだですね。

社会人になって、自分の学生時代を思い出すと、陸上競技部の活動しか頭に残っていないくらいです。そんな感じで、ほぼ毎日陸上競技のことを考えて過ごしていたのだろうと思います。そんな自分も今では、日に日に運動量が減った挙句、全く運動しなくなった状況です。それで、つい最近、駅まで1kmないくらいの距離を走ったら体のいろいろなところが悲鳴をあげました。こんな状況になって、「ああ、あの時は結構頑張っていたんだな」とか、「あの時の俺は若かった」なんて思ったりもしました。運動は結構大事ですね。みなさんも、社会人になったら気をつけてください。

それでも、陸上競技のことばかり考えていた学生時代は違い、社会人になってからは、いろいろなことに目を向けるようになり、趣味、嗜好が増えたかなと思います。今では、「こんなに楽しいことがあったのなら、学生時代にやっておけば…」なんて、後悔することもあります。後輩たちのみなさんは、陸上競技のことを考えることは大事だと思いますが、それだけでなく、何でもいいので他の分野にも目を向けてみてはどうでしょうか。陸上競技のことで思い悩んだときにいい気分転換になると思うので。

最後に、後輩たちのみなさん、学生時代のうちにいろいろなことにチャレンジしてください。失敗して後悔するより、やらないで後悔するほうがよくないので。もちろん、陸上競技も頑張ってください。今後の後輩たちの活躍に期待しています。また、どこかで会いましょう。

工学部/メディア/中長距離

800m・1分57秒75 / 1500m・4分11秒65



### 石澤ゆかり

こんにちは。広島ではもう「ブレイブ」のあだ名で呼ばれなくなって寂しさを感じているブレイブです。(笑)

皆さん元気になっていますか。私の方は、生まれ育った茨城を離れ、広島の地で始まった実業団生活ももうすぐ一年が経とうとしています。この一年間は本当に何もかもが未知の世界ばかりで、無我夢中で駆け抜けてきました。次から次へと合宿で日本各地や海外に飛び回り、栄養管理された食事、テレビの取材、有名選手達と競う駅伝…。

未だにこんな世界にいることを実感出来ずにいます。学生時代に苦労してきたからこそ、尚更この生活は私にとって贅沢過ぎるほど幸せなことです。そんな1年間の中でも、自分でとても大事にしていることがあります。それは、どんな時も初心を忘れないことです。実業団の世界は走る環境にとっても恵まれていて、学生の時には考えられないくらいの手厚いサポートをしてもらっている中で競技を続けられます。でもいつもいる環境はしばらくすると慣れてしまって、幸せなことが当たり前感じてしまう感覚が時々怖く感じます。

大学時代、部活と授業の合間に某中華料理店のバイトをやり、スポーツショップで見慣れない1万円札を出して新しいシューズを買ったあの緊張と感動(笑)。今でもその新鮮な思いを忘れていません。スランプやケガで走れない時もあるだろうし、勉強や



将来のことで不安に思うこともあると思います。だけどそんな時こそ、大学入試の受験生をやっていた頃、入学式に初めて大学の門をくぐった頃、初めて大学のグラウンドにきて、茨大陸上部員の前で自己紹介をした時のこと、初めて大学の名前の入ったユニフォームを着た時のことを思い出してみてください。あの時のワクワクと緊張が、これからもずっと自分の支えになると思うし、当たり前を当たり前と思わない気持ちがきっといい結果につながっていくと思います。限られた時間を、どうか悔いなく思いっきり楽しんでください!これからも茨大陸上競技部を応援しています!そしてこの文章は、現在成田空港にて作成中(笑)これからまた3月上旬までアメリカ合宿に行きまして!次に茨大に遊びに行く頃には、きっと身も心も言語も外人になっていることでしょう(笑)

それではまた会う日まで★

教育学部/情報文化/中長距離

800m・2分10秒95 / 1500m・4分33秒79 / 3000m・9分41秒49

## 上杉明弘

お久しぶりです。上杉です。

私は今、コンピューター関係の会社でソフトウェア開発などの仕事をしています。今年に入ってからにはプログラム中心の作業になり、悪戦苦闘しながら仕事をしています。正確に、理にかなった動かし方をしてあげないと思うように動かなかったり、同じ動きでも工夫することで無駄のない効率のいい動きになったりするところなどは、どこことなく身体を動かすことと似ているような気がします。

覚えなければならないことはまだまだ多いですが、楽しさや悔しさ、もどかしさなどを経験しながら、頑張っていくつもりです。

去年、忙しさを理由に不規則な生活をしていたので、肉体的にもだいぶがっかりな状態になってきてしまいました。しかし!今年からは月・火・木・金の週4日は、仕事帰りに笠松運動公園に行って身体を動かすようにしています。今は、笠松運動公園内のジョギングコースと、投擲場側の広い駐車場が主な活動場所です。まだ1カ月程度なので、何も変化を感じませんが、継続してトレーニングをして、健康的なたくましい社会人でいようと思います。現役の頃よりたくましい肉体を手に入れることを目標に張り切って練習することにします。



そのうち、ハードルパートのみんなとまた一緒にハードルドリルをやったり、ハードルを跳んだりしたいなどと考えています。(なまった身体を鍛えなおしたらね…)

さて、部員のみなさま。一緒に練習したり、競い合ったり、励まし合える仲間がいて、練習出来る環境がある今そのときを精いっぱい楽しんでください。そして、いっぱい遊んでください。学生の中にしか出来ないことはたくさんあると思います。多くの経験をして、学生生活を実りあるものにしていくって嬉しいです。ほんと学生ってうらやましいなあー。

茨城大学陸上競技部が今年もたくさん活躍して、みなさんが悔いのない最高の陸上生活を送れることを心から願っています。ケガに気をつけて頑張ってくださいね♪

教育学部/スポーツ/短距離

400mH・52秒69 / 110mH・15秒88

## 片岡龍治

皆さんこんにちは。お元気でお過ごしでしょうか？

早いもので、卒業して1年が経ちました。就職が決まらず卒業した後、ガソリンスタンドでアルバイトを3ヶ月経験し、10月から地元である常陸大宮市で臨時職員として働いています。仕事内容は市内施設や道路、河川の清掃、その他依頼に応じた環境整備です。そして、今年4月からは念願の市役所職員として笠間市でお世話になります。陸上部にも笠間市出身の方がいるかもしれませんね。まだまだ分からないことだらけですが、住民の方々と同じ目線で物事を考えられるように日々精進していきたいと思います。



皆さん自分の目標や夢に向かって日々努力されていることと思います。思い通りの結果にならないこともたくさんあって、時には落ち込んでしまうこともあるかもしれません。しかし、信念を持って努力すれば結果は必ずついてきます。それをこの1年間で学びました。皆さん一人ひとりが自分の殻を破って成長していく姿を楽しみにしております。

最後になりますが、大学生活の4年間を陸上部で過ごせたことを、今、とても幸せに感じています。それは苦楽を共にした仲間や先生方がいたことに他なりません。その出会いに感謝しつつ、一卒業生としてこれからも応援していきたいと思います。茨大ファイト!!

工学部/生体分子/中長距離

800m・2分3秒71 / 1500m・4分26秒42 / 5000m・17分3秒07

## 後藤雅彦

体重は40kg台に突入し、あの鍛えてきたハムストの肉はなくなってため息ばかりです。12月まで栃木の山奥で芝生を刈るなどスローライフを送って、1月から東京で、さわやかセールスマンをやっております。アパートは埼玉で通勤に一時間かかり、茨大から徒歩5分のコーポ寺門A棟201号室をととても懐かしく思っています。そんな、社会人1年目の後藤です。



正直、1年目では社会「し」もわかっておらず毎日勉強です。ほぼ毎日、飛びこみ営業を行っているのですが、社会は思っている以上に厳しく、辛いという残念ながらネガティブ事ばかりです。しかし仕事が上手くいったとき、喜ばれたときのほんの一握りのうれしい事柄で救われてしまう、そんな単純な仕組みで働いています。

この寄稿するにあたって、反省文集や、写真を見返したのですが、思い出&涙ぼろぼろです。そのように思えるのは茨城大学陸上競技部が、素敵すぎたからです。現役生にはぜひ今いる環境や仲間に感謝し、楽しんでもらえたら幸いです。ありがちなことかもしれませんが、1番大切なことだと思います。食欲に、楽しんでください。素敵な部、仲間であり続けてください。

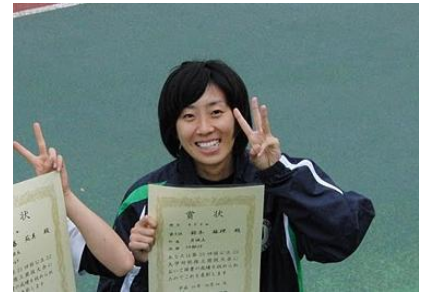
東京で働いていることで、対抗戦などいける機会は増えそうです!楽しみです。みなさんも私に会うの楽しみですよね?(笑) それでは。

教育学部/保健体育/短距離

110mH・15秒35 / 100m・11秒48

## 鈴木麻理

茨城大学陸上競技部に入部して、5年が経とうとしています。5年目のシーズンは、東日本大震災の影響で活動ができない時期があったり、大会の中止、あるいは日程・場所が変更になることもあったりと、慌ただしいシーズンだったように感じます。そんな大変な中、部をまとめ、22大の主催も見事にこなした幹部のみんなの団結力や行動力には頭が上がりません。また、部員1人1人も震災を機に、部や仲間に対する言動がプラスの方向に変化していったのではないかと思います。一緒に活動していて、みんながとても頼もしくなっていく姿から、いつも刺激を受けていました。



個人としては、自己ベストを更新することができず悔しい思いもしましたが、県選で初優勝することができたり、国体のリレメンバーに選んでいただいたりと、新たな経験を積むこともできました。

いよいよ学生として臨める最後のシーズンが始まります。結果を残すことはもちろんですが、6年間お世話になっている部に対して、日々の練習や大会を通して何か残せるものがあるように、おばちゃんとかおばあちゃんと呼ばれないように…(泣)。フレッシュな言動を心がけていきたいと思います。残り1年間、よろしく願いいたします。

教育学部/スポーツ/短距離

100m・12秒10 / 200m・24秒52 / 400m・56秒88

## 生井美有

お久しぶりです!お会いしたことない人には、はじめまして!

現在は、国会議事堂を見降ろしながら仕事をしています。日本の中心で1日1日を過ごしてみると、自分の人生を人に任せたくないという気持ちが強くなります。皆さん、選挙権を持ったら必ず自分の意思表示をしに行きましょう!!

そんな事を考えている今年24歳のピチピチお姉さんですが、大学を卒業してからのこの約1年間で人生の夏休みが大学時代だったという事がすごくわかりました。(まだ若いはずなのに)



これを読んだ後輩の皆さん!! 伝えたい事があります!!まず、たくさん楽しい事をして下さい!! あと、挑戦して下さい!!

加えて、去年の3月11日には東日本大震災が発生し、辛い事や大切な事を沢山学んだと思います。それを活かす為にも、人生の夏休みを有効に活用してほしいと思います。

上記、私の伝えたい事を実行するには、まず、部活動を充実させることが手っ取り早いかと☆

大学生活4年間、大学院に進めばプラス2年。この期間に自慢ができる楽しい事を沢山やって自信にして下さい♪ また、日々とは言わず、節目節目で自分を見つめ直して評価してみてください。さらなる挑戦が可能となり自分を成長させることが出来ると思います!!

では今年卒業される皆さん! 気持ちを強く持って、自信満々で卒業して行ってください!!

これからも茨城大学陸上競技部員1人1人の活躍をお祈り申し上げます。

教育学部/スポーツ/短距離

100mH・14秒46

## 渡邊学

皆さま、お元気ですか?体調を崩すことなく、元気に走っていますか?

私は現在、福島県警察で地域警察官として、日々制服の重さを感じながら働いています。つらいこともあります。学生時代の部活で培った気力と根性で、1つ1つ対応するよう努めています。そういう点でも、大学で陸上競技を続けていて、本当に良かったと思っています。

気が付けば、大学を卒業し社会人として働いて、もうすぐ1年が経ちます。そして、東日本大震災が起きてからも1年。震災当時は、たくさんの人に心配をいただきました。ご自身も被害を受けているにも関わらず、温かい言葉をかけてくださったことには、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。また、メール等を活用して部内で情報を交換しあい、部活の流れについて連絡を取っていた茨大陸上競技部は、「組織力がある!」と福島で1人、感動していました。未熟な私が言うのもなんですが、どうか、これからもその組織力を大切にして、部の運営を進めてほしいです。

なかなか大会等に顔を出せませんが、これからも茨城大学陸上競技部の活躍を応援しています!がんばっぺ!

教育学部/健康/跳躍

三段跳・13m39 / 走幅跳・6m12



## 和田明久

皆様お元気でしょうか。2011年3月に卒業しました、和田明久です。時が流れるのは早いもので、水戸を後にしてから間もなく1年が経とうとしています。私は卒業後、名古屋大学大学院、環境学研究科に進学しました。現在は陸上競技からは離れ、研究と就職活動に注力しつつ日々を過ごしています。名古屋は冬の夜の冷え込みこそ水戸よりも弱いものの、積雪もあり、夏は暑く、冬は寒いというなかなか「素敵」な地域です。一説では、名古屋に住むと日本のほとんどの地域の気候を疑似体験できる、とまで言われるほどに。機会がありましたら是非遊びにいらしてくださいね。



さて、今年はOBとしてこの部誌に文章を載せていただけるということですので、こんな私からではありますが、少しだけ、現役生の皆さんにアドバイスをさせていただきます。皆さんは勉学、競技、研究、就活のいずれか(ないし全て)を行うにあたり、最も必要になるモノは何だと思えますか。私は「真摯さ」だと思います。なぜなら、先に挙げた事柄において、どんな行動を起こすにしても、まず重要になることは「人の話を聞く」ことだからです。右も左もわからなければまずは先人に尋ねることから始めるでしょうし、自らの考えを持って行動を起こしたとしても、その評価とフィードバックを行うためには第三者、第三者からの意見を聞く必要があります。そうして得た意見から、自分が学ぶべき事はなにか、得るべき教訓はなにか、常に考えてほしいと思います。そして行動に活かしてもらいたいです。言い換えれば「素直さ」になるのかも知れません。もちろんすべてを鵜呑みにしろと言っているわけではありませんよ。このプロセスを通じて、自らの中の「当たり前」の基準(の質)を高めていって下さい。私自身にも言える事柄ですが、アドバイスとさせていただきます。

最後になりましたが、掲示板、いつも拝見しております。私の活力の源の一つです。今後も皆さんのより一層のご活躍をお祈りしております。

理学部/地球環境/中長距離

1500m・4分14秒95 / 3000mSC・9分49秒72 / 5000m・16分46秒05 / 10000m・34分27秒91



## 和田和幸

皆さんこんにちは。お久しぶりです。

先輩の方々が部誌に書くメッセージを毎年楽しみにしていました。そうしたらもう自分達の番が回ってきた事に驚き、時間の流れの速さを感じます。

自分は現在北海道大で数学と量子物理の境界線あたりを勉強しています。毎日机に向かってシャープペンシルを持ち、紙にガリガリ数式を書いています。新しい知識に出会い、先人達のアイデアに感動し、時には仲間と議論し、充実した日々を送っています。

日常の中で壁にぶち当たる事は沢山あります。たまには息抜きし、頭を冷やすのがいいと思います。聞き慣れた言葉ですが、『慣れた言葉』なので今一度、自分を含めた皆さんへの確認の意味を込めて。たまにはコーヒーを片手に深呼吸してみてもいいでしょうか。

去年は夏の頃に茨大の部活に参加し、22大学対校戦で審判をしました。掲示板をちょこちょこ覗いたり、たまに連絡をとりあったりして皆さんから沢山刺激をもらいました。本当にありがとうございました。自分の競技内容を振り返るとパッとした結果を残すことが出来なかったのが、区切りである今年は大活躍の年にします。皆さんも冬期の間、沢山走って鍛えて力を付けていることと思います。ケガや病気に気をつけて自分の目標達成の為に毎日を過ごしてください。

それでは失礼いたします。マグでした。

理学部/教理/短距離

100m・11秒14 / 200m・21秒82 / 400m・49秒39



Ⅶ. 記録集

茨大記録 【男子】

種目	氏名	記録	期日	大会名	会場
100m	杉崎 弘周	10.51(+1.9)	1998/9/11	日本インカレ	国立競技場
200m	伊藤 太一	21.14(±0.0)	2011/9/11	日本インカレ	KKWINHG
400m	今村 明彦	48.06	1994/9/9	日本インカレ	国立競技場
800m	今井 英明	1.53.9	1990/4/7	学連競技会	筑波
1500m	秋山 陽祐	3.56.42	2007/9/15	関東新人	国立競技場
3000m	秋山 陽祐	8.52.10	2009/4/12	県記録会	笠松
5000m	秋山 陽祐	14.52.16	2009/9/21	国公立22大	千葉県総合
10000m	秋山 陽祐	30.35.03	2007/12/22	松戸記録会	松戸
110mH	星 耕平	15.03(+1.6)	2011/7/2	茨城県選手権	ケーズデンキ
400mH	神尾 伸也	52.53	1994/8/23	関東選手権	笠松
3000mSC	岡崎 浩樹	9.07.37	2008/8/24	関東選手権	笠松
5000mW	小向 瑞樹	24.40.48	2009/8/24	国公立22大	千葉県総合
10000mW	小向 瑞樹	49.38.28	2010/5/16	関東インカレ	国立競技場
4×100mR	成石・杉崎・大久保・神尾	40.75	1996/9/6	日本インカレ	国立競技場
4×200mR	浅井・佐藤・大久保・神尾	1.27.38	1995/5/28	リレー選手権	笠松
4×400mR	開・上杉・山本・和田	3.14.60	2008/5/25	関東インカレ	国立競技場
4×800mR	中村・飯塚・林・神尾	7.54.72	1994/5/29	リレー選手権	笠松
4×1500mR	滝沢・根本・千葉・金沢	16.38.08	1981/4/18	リレー選手権	笠松
スウェーデンR	浅井・成石・大久保・岡	1.57.44	1996/5/26	リレー選手権	笠松
走高跳	青木 博光	2m00	1985/9/8	関東選手権	小瀬
棒高跳	岡山 進也	4m90	2001/5/26	リレー選手権	笠松
走幅跳	佐藤 良雄	7m09(?)	1958/7/19	茨城県選手権	土浦
三段跳	吉野 学	14m81(+1.6)	2005/5/13	関東インカレ	国立競技場
砲丸投	海老原大輔	15m02	2005/8/20	関東選手権	敷島
円盤投	ホアン・テ・ウエン	40m84	2010/8/7	千葉対校	笠松
ハンマー投	小林 朋寛	45m00	2011/9/18	国公立22大	古河
やり投	渡邊 将司	66m94	2000/10/19	国公立21大	小瀬
十種競技	渡邊 将司	6676点	1999/7/17・18	栃木県選手権	宇都宮
5km	富井 一仁	16.18	2011/2/20	結城シルクカップ	結城
10km	千葉 雅昭	31.20	1981/2/11	勝田マラソン	ひたちなか
20km	渡辺 雄馬	1:03.29	2006/10/21	箱根駅伝予選会	昭和記念公園
30km	鈴木徳次郎	1:41.12	1973/2/17	青梅マラソン	青梅
ハーフマラソン	秋山 陽祐	1:09.27	2008/3/9	日本学生ハーフ	昭和記念公園
マラソン	秋山 陽祐	2:24.46	2008/1/27	勝田マラソン	ひたちなか

茨大記録 【女子】

種目	氏名	記録(風速)	期日	大会名	会場
100m	鈴木 麻理	12.10 (+0.8)	2010/10/24	北関東5大学	宇都宮
200m	鈴木 麻理	24.52 (+0.1)	2010/10/24	北関東5大学	宇都宮
400m	鈴木 麻理	56.88	2010/10/24	北関東5大学	宇都宮
800m	石澤ゆかり	2.10.95	2010/9/26	国公立22大学	三ツ沢
1500m	野田 春香	4.33.51	2007/9/28	国公立22大学	緑が丘
3000m	石澤ゆかり	9.41.49	2010/11/20	日体大競技会	日体大
5000m	野田 春香	16.28.82	2008/7/13	ホクレンディスタンス	北海道
10000m	野田 春香	34.29.10	2008/6/28	茨城県選手権	笠松
100mH	石川ちひろ	14.07(+1.5)	2006/6/10	日本インカレ	日産スタジアム
400mH	石川ちひろ	61.34	2005/ 9/18	国公立22大学	国立競技場
4×100mR	山口・林田・鈴木・遠藤	48.26	2010/8/20	関東甲信越	松本
4×200mR	黒川・大内・長谷川・呉	1.48.72	1994/5/29	リレー選手権	笠松
4×400mR	肥田埜・林田・小畠・鈴木	3.56.23	2011/9/19	国公立22大学	古河
4×800mR	深谷・飯嶋・小林・柴	9.42.31	1994/5/29	リレー選手権	笠松
スウェーデンR	黒川・呉・長谷川・柴	2' 22" 05	1994/5/29	リレー選手権	笠松
走高跳	森 あゆ美	1m73	2008/8/26	関東甲信越	熊谷
棒高跳	長久保佳子	3m20	2001/6/29	茨城県選手権	笠松
走幅跳	吉原 友理	5m80 (+1.6)	2009/7/4	茨城県選手権	笠松
三段跳	遠藤 園子	12m31 (+2.0)	2010/8/7	千葉対校	笠松
砲丸投	城所 舞	12m33	2011/8/16	千葉対校	千葉
円盤投	梅原 由香	45m84	1997/8/23	国体予選	笠松
やり投	高村理恵子	41m76	1999/6/18	北関東5大学	小吹
ハンマー投	弓削真理子	51m33	2010/5/3	日体大競技会	日体大
七種競技	山口 真未	4788点	2011/7/2・3	茨城県選手権	ケーズデンキ
10km	野田 春香	34.16	2008/1/27	勝田マラソン	ひたちなか
ハーフマラソン	野田 春香	1 : 15.58	2008/2/10	守谷ハーフ	守谷
フルマラソン	野田 春香	2 : 42.19	2009/1/25	勝田マラソン	ひたちなか

## 2012 年度ランキング

### 【男子】

種目	順位	氏名	記録
100m	1	伊藤 太一	10.56
	2	山本 悠輔	11.15
	3	滑川 智登	11.22
200m	1	伊藤 太一	21.14
	2	山本 悠輔	22.76
	3	滑川 智登	22.77
400m	1	滑川 智登	50.23
	2	川部 優太	50.54
	3	柴 俊博	51.98
800m	1	江口 遼	1:59.10
	2	高野 和文	2:00.92
	3	浅川 瞭	2:04.60
1500m	1	加藤 俊介	4:01.14
	2	江口 遼	4:06.91
	3	高野 和文	4:09.60
3000m	1	加藤 俊介	8:53.25
	2	金田 祐輔	9:00.85
	3	江口 遼	9:08.83
5000m	1	加藤 俊介	15:35.54
	2	江口 遼	15:52.13
	3	富井 一仁	15:55.01
10000m	1	富井 一仁	35:08.60
	2	小向 瑞樹	39:12.63
110mH	1	星 耕平	15.03
	2	本岡 理彦	15.33
400mH	1	星 耕平	54.11
	2	川部 優太	54.97
	3	柴 俊博	58.25
3000mSC	1	金田 祐輔	9:44.18
	2	加藤 俊介	9:52.08
	3	手倉森洋人	10:06.97
10000mW	1	小向 瑞樹	57:23.48
4×100mR	1	山本・伊藤・星・滑川	41.22
	2	逆井・星・川部・伊藤	42.41
	3	逆井・伊藤・川部・柴	42.55
4×400mR	1	伊藤・川部・山本・滑川	3:19.12
	2	星・滑川・山本・川部	3:19.19
	3	川部・柴・山本・滑川	3:22.88
走高跳	1	堀越 成志	1m75
	2	小林 朋寛	1m60
	2	逆井 智也	1m60
棒高跳	1	栗原 航介	1m60
	1	青柳 達也	4m30
走幅跳	1	逆井 智也	6m92
	2	山本 悠輔	6m38
	3	星 耕平	6m08
三段跳	1	逆井 智也	13m08
	2	青柳 達也	12m87
	3	栗原 航介	12m16
砲丸投	1	ホアン テ ウェン	11m73
	2	小林 朋寛	11m54
	3	本岡 理彦	8m78
円盤投	1	ホアン テ ウェン	38m86
	2	小林 朋寛	27m50
	3	青柳 達也	20m81
やり投	1	ホアン テ ウェン	58m18
	2	山本 悠輔	44m71
	3	小林 朋寛	30m44
ハンマー投	1	小林 朋寛	45m00
5km	1	富井 一仁	16.18
	1	江口 遼	33.23
10km	2	金田 祐輔	35.10
	3	高野 和文	36.42
	1	小向 瑞樹	2:55.24
フルマラソン	2	秋葉 寛史	3:18.48
	3	手倉森洋人	3:43.03

### 【女子】

種目	順位	氏名	記録
100m	1	鈴木 麻理	12.12
	2	肥田 栞里枝	12.83
	3	遠藤 園子	12.90
200m	1	鈴木 麻理	25.10
	2	肥田 栞里枝	26.40
	3	山口 真未	26.45
400m	1	肥田 栞里枝	58.84
	2	小島 恵梨香	61.74
	3	安田 萌	69.42
800m	1	大貫 綾子	2:24.51
	2	黒澤 夏楠	2:26.47
	3	木村 世奈	2:31.60
1500m	1	黒澤 夏楠	4:41.41
	2	大貫 綾子	4:54.44
	3	木村 世奈	5:02.75
3000m	1	黒澤 夏楠	9:49.75
	2	木村 世奈	10:52.72
5000m	1	黒澤 夏楠	16:38.86
	2	木村 世奈	18:28.03
10000m	1	黒澤 夏楠	35:41.29
	2	木村 世奈	37:43.91
100mH	1	山口 真未	15.18
	2	酒井くるみ	15.97
400mH	1	小島 恵梨香	68.07
4×100mR	1	酒井・鈴木・林田・遠藤	48.45
	2	遠藤・鈴木・山口・林田	48.76
	3	肥田 栞・鈴木・林田・遠藤	48.78
4×400mR	1	肥田 栞・林田・小島・鈴木	3:56.23
	2	山屋・鈴木・小島・林田	4:00.45
	3	山屋・鈴木・小島・肥田 栞	4:02.97
走高跳	1	林田 麻由	1m68
	2	山口 真未	1m62
走幅跳	1	山口 真未	5m48
	2	遠藤 園子	5m44
	3	吉原 友理	5m21
三段跳	1	遠藤 園子	12m21
	2	林田 麻由	11m38
砲丸投	1	城所 舞	12m33
	2	山口 真未	10m90
	3	鈴木 香織	10m60
円盤投	1	城所 舞	37m57
	2	星野 千恵	36m93
	3	鈴木 香織	36m66
やり投	1	遠藤 園子	38m67
	2	山口 真未	38m35
	3	鈴木 香織	33m14
ハンマー投	1	鈴木 香織	40m86
	2	星野 千恵	31m53
	3	城所 舞	28m60
七種競技	1	山口 真未	4788点
10km	1	黒澤 夏楠	35.58
	2	木村 世奈	39.34

## 対校戦順位

順位	男子			女子		
	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド
第26回国公立22大学対校陸上競技大会（男子総合5位・女子総合3位）						
1	東京学芸	東京学芸	横浜国立	東京学芸	都留文科	茨城大
2	横浜国立	横浜国立	東北大	都留文科	東京学芸	東京学芸
3	東北大	茨城大	新潟大	茨城大	茨城大	埼玉大
第62回北関東5大学対校陸上競技大会（男子総合1位・女子総合1位）						
1	茨城大	埼玉大	群馬大	茨城大	茨城大	茨城大
2	埼玉大	茨城大	茨城大	宇都宮大	宇都宮大	埼玉大
3	群馬大	宇都宮大	高崎経済大	埼玉大	埼玉大	宇都宮大
第66回三浜駅伝競走大会 一般男子の部 【1部】（茨大1位）						
1	茨城大					
2	我流AC					
3	石巻AC					
第12回荒川河川敷対校駅伝競走大会（茨大12位）						
1	学習院大			女子連合A		
2	東京理科大			学習院大		
3	横浜国立			北里大		
第9回国公立22大学対校駅伝競走大会（茨大12位）						
1	東京学芸					
2	新潟大					
3	東北大					



22大学対校戦主催 選手宣誓 ホアン テ ウェン

VII. 部員名簿

学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科
院2	手倉森洋人	八戸西/青森	中長距離	工/物質
院2	山本 悠輔	下田北/静岡	短距離	教育/保健体育
院1	鈴木 麻理	水戸第三/茨城	短距離	教育/保健体育
院1	滑川 智登	水戸桜ノ牧/茨城	短距離	教育/保健体育
4年	秋庭 寛史	秋田中央/秋田	中長距離	農/資源生物
4年	遠藤 園子	利府/宮城	跳躍	教育/保健体育
4年	荻生めぐみ	呉羽/富山	マネージャー	教育/健康
4年	城所 舞	真岡女子/栃木	投擲	教育/保健体育
4年	小向 瑞樹	久慈/岩手	中長距離	人文/人コミ
4年	高野 和文	盛岡第三/岩手	中長距離	工/情報
4年	松村 俊	緑岡/茨城	短距離	工/電気電子
3年	青柳 達也	佐原/千葉	跳躍	理/物理
3年	浅川 瞭	伊奈/茨城	中長距離	人文/社会
3年	小島恵梨香	牛久/茨城	短距離	教育/健康
3年	久保 美春	松阪/三重	短距離	工/都市システム
3年	栗原 航介	石橋/栃木	跳躍	工/都市システム
3年	逆井 智也	春日部/埼玉	跳躍	教育/スポーツ
3年	鈴木 香織	水戸第二/茨城	投擲	教育/健康
3年	汁 はるか	高松第一/香川	投擲	教育/スポーツ
3年	富井 一仁	常葉菊川/静岡	中長距離	教育/社会
3年	南部 智彦	矢板東/栃木	短距離	人文/社会
3年	林田 麻由	鹿島/茨城	跳躍	教育/健康
3年	ホソ テ ウェン	龍ヶ崎第一/茨城	投擲	教育/スポーツ
3年	堀越 成志	茨城キリスト/茨城	跳躍	工/機械
3年	吉原 友理	下妻第一/茨城	跳躍	教育/国語
2年	石津美阿里	波崎柳川/茨城	マネージャー	教育/養護教諭
2年	伊藤 太一	水戸桜ノ牧/茨城	短距離	教育/保健体育
2年	加藤 俊介	日立第一/茨城	中長距離	教育/スポーツ
2年	川部 優太	水戸桜ノ牧/茨城	短距離	工/都市システム
2年	木村 世奈	太田第一/茨城	中長距離	教育/心理
2年	黒澤 夏楠	茨城キリスト/茨城	中長距離	教育/健康
2年	小林 朋寛	旭川西/北海道	投擲	教育/スポーツ
2年	齋藤 圭介	水戸桜ノ牧/茨城	中長距離	人文/社会
2年	柴 俊博	下妻第一/茨城	短距離	教育/理科
2年	城石 俊朗	富山南/富山	中長距離	理/物理
2年	宮岡 仁美	水戸第一/茨城	マネージャー	教育/養護教諭
2年	肥田栞里枝	童ヶ崎第一/茨城	短距離	教育/数学
2年	星野 千恵	童ヶ崎第一/茨城	投擲	教育/保健体育
2年	山口 真未	聖徳/茨城	七種	教育/健康
2年	山屋 瑛美	緑岡/茨城	短距離	教育/社会
1年	江口 遼	水戸桜ノ牧/茨城	中長距離	工/マテリアル工学
1年	大貫 綾子	日立第一/茨城	中長距離	教育/保健体育
1年	金田 祐輔	日立第一/茨城	中長距離	工/都市システム
1年	酒井くるみ	土浦日大/茨城	短距離	教育/環境
1年	萩野谷安己帆	佐和/茨城	マネージャー	人文/社会
1年	福井 進	甲府西/山梨	中長距離	教育/保健体育
1年	星 耕平	会津/福島	短距離	人文/社会
1年	本岡 理彦	新発田/新潟	短距離	工/電気電子
1年	村田 賢哉	長生/千葉	中長距離	理/化学
1年	谷貝 脩平	緑岡/茨城	短距離	人文/社会
1年	安田 萌	童ヶ崎第一/茨城	短距離	教育/保健体育
1年	山田 優	童ヶ崎第一/茨城	短距離	人文/社会

## 編集後記

今回も部誌を作成するにあたり、文章にご協力くださった皆様ありがとうございました。部誌には部員やOB・OGの方々の茨城大学陸上競技部に対する思いが語られています。皆が競技力向上を目指すことはもちろんのこと、チームとして、報告・連絡・相談の重要性や、コミュニケーションの必要性を強く感じます。

2011年度を振り返りますと、全日本インカレにおいて、男子では100m・200mで伊藤が6位・5位、女子では7種競技で山口が8位入賞を果たしました。対校戦においては、5大学対校戦で男女ともに総合優勝を果たすなど良い成績を修めることができました。

2012年度も、新しい目標である「挑戦・現状打破」をモットーに部員一同練習に励んでいきますので、今後ともご指導よろしくお願いたします。

(文責：木村 世奈)

## 茨城大学陸上競技部に関するお問い合わせ

陸上競技部に関するご意見・ご質問は、ホームページ内の掲示板、もしくは、顧問の上地までよろしくお願いたします。皆様からの情報をお待ちしております。

ホームページ URL

<http://18.pro.tok2.com/~ibadaitandclub/>

顧問 上地 勝

〒310 - 8512 水戸市文京 2-1-1

茨城大学教育学部

Tel: 029-228-8477 (研究室)

Fax: 029-228-8478 (体育事務室)

e-mail: mueji@mx.ibaraki.ac.jp

## 茨苑 AC に関するお問い合わせ

〒310 - 0852 水戸市笠原町 979-16

Tel: 029-244-1036

益子 雄行

茨城大学陸上競技部部誌「Perspiration」第6号

平成24年 3月23日発行

編集責任者

加藤俊介・木村世奈・山屋瑛美

発行者 茨城大学陸上競技部